

Be ambitious



「4月、花咲く中央ローン」(本学広報課提供)



## 年会費の納入のお願い

同窓会の事業は、会員の皆様の年会費で運営されています。今回は下記のように同封の「払込取扱票」にて年会費の納入をお願いいたします。なお、払込済の会員には払込取扱票は同封されていません。

◆令和5年度(2022/9～2023/8)年会費 3000 円の納入。

◆令和4年度(2021/9～2022/8)未納の場合は、2年分の年会費 6000 円の納入。

\*令和4年度分を納入されておられましたら、恐縮ですが、6000 円を 3000 円に訂正いただき窓口扱いにて納入をお願いします。お問い合わせ先：elmkansai@yahoo.co.jp

\*広告掲載者の方には、掲載者として会報を別封筒にて届けており、  
広告料払込取扱票は其中に同封していますので宜しくお願いします。

○振込先：郵便局 口座番号 00920-1-89690

加入者名 北海道大学関西同窓会 (取引銀行はありません)

## 会員獲得のご協力のお願い

会員増強委員長 福井 毅 (S55 理)

E-mail: elmkansai@yahoo.co.jp

本同窓会の更なる発展のため、新たな会員獲得を進めています。皆様のお近くに当会に未入会の同窓生がおられましたら、どうぞ本会への入会をお勧めください。加入のご案内は当会からも致します。

北大関西同窓会 E-mail: elmkansai@yahoo.co.jp

## 住所変更の連絡とメールアドレスの提供のお願い

送付した会報が宛先不明として返送されたり、メールアドレス不明のためメールが届けられない場合が多数発生しております。住所変更やメールアドレスの新規登録あるいは変更がありましたら、速やかに当同窓会ホームページの一番下にある「お問い合わせ」欄から同窓会宛に連絡をお願い申し上げます。その際、封筒に記載の学部と番号(例:理 087)も「連絡事項」欄に入力願います。ホームページからの入力が多い場合は、同窓会館宛に郵便・Fax をお願い致します。

同窓会ホームページ URL: http://hokudai-kansai.org

## 広告出稿のお願い

更なる円滑で充実した活動のために下記要領で広告をお願いしております。

なお、広告掲載者の方には、掲載者として会報を別封筒にて届けており、広告料払込取扱票は其中に同封していますので、宜しくお願いします。

○広告スペースと代金

|             |         |      |           |
|-------------|---------|------|-----------|
| 1/16頁(名刺様式) | 3,000円  | 1/2頁 | 15,000円   |
| 1/8頁        | 7,000円  | 1頁   | 30,000円   |
| 1/4頁        | 10,000円 | 連名広告 | 2,000円/一人 |

○払込先 郵便局: 口座番号: 00920-1-89690

加入者名: 北海道大学関西同窓会 (取引銀行はありません)

2023年3月吉日

北海道大学同窓生各位

(一社)北海道大学関西同窓会館

北海道大学関西同窓会



## 北大館祭(20周年)のご案内

拝啓 陽春の候 同窓生各位にはお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、本年度も掲題の件、下記要領で開催しますのでご案内します。 敬具

— 記 —

1)開催日時 2023年5月27日(土) 13時10分～16時40分(20時)

2)開催場所 大阪駅前第2ビル 第1研修室 5階(及び 2階 北大館)

挨拶(～13時30分) (一社)北海道大学関西同窓会館代表理事 波多 勇

挨拶(～13時40分) 北海道大学関西同窓会会長 植松 高志

来賓挨拶(～13時45分) 北海道大学理事・副学長(同窓会担当) 山口 淳二

3)行事内容 於:5階生涯学習センター第1研修室 総合司会 日下 大器

第1部 講演会

A. 北海道大学の近況と将来への取組み;(～14時50分)

講演者 北海道大学理事・副学長 山口 淳二

1. 創基150周年に向けて

2. 同窓会との連携に向けて

休憩時間 ……………詩吟の吟詠(～15時40分)…………… 司会 伊藤 靖久

演奏者 福本 駿(昭45文教)

演題 ①静夜思 ②涼州詞 ③酒(しらたまの)

④平泉懐古 ⑤不識庵機山を撃つのに題す

B. 先住民・文化的多様性グローバルステーション(GSI)の活動;(～16時40分)

司会 田島 朋子

講演者 アイヌ・先住民研究センター 准教授 石原 真衣

人類は言語、遺伝、価値観、宗教、支配地等を異にする民族から成っています。それで複数の民族で1つの国家を形成しています。日本国も多民族国家です。では民族間の交流をどうすれば良い国家が出来るでしょうか?考えてみて下さい。聞いてみて下さい。

第2部 北海道の物産販売 (場所:北大館 予約販売ですが当日も17時10分より販売します。裏面の申込み用紙もご利用ください。) 担当 入江 和彦

第3部 懇親会 (於:2階 北大館)(～20時) 参加費 3,000 円 担当 大橋 人司

講演会・懇親会への出欠を5月20日までに裏面の用紙でお知らせください。

以上

北大会館祭(20周年)出欠のご返事  
締切5月20日 (一社)北海道大学関西同窓会館宛  
Fax:06-6343-3736 または e-mail:elmkansai@yahoo.co.jp  
にて、ご連絡願います。

#### 1. 氏名

卒業年次 : 昭和・平成・令和 \_\_\_\_ 年

卒業学部学科 : 学部 学科 / 修士/ 博士

#### 2. 住所・Tel & Fax, e-mail address 等

住所 \_\_\_\_\_

#### 3. 出欠 どちらかに○

講演会 ( )出席 ( )欠席

懇親会 ( )出席 ( )欠席

#### 4. 質問事項

(講演後質疑・討論の時間を用意しておりますが、あらかじめ、講演者にお尋ねしたいことがあれば下にご記入の上、5月1日までにお寄せ下さい。)

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

#### 会館祭のお持ち帰り商品の販売

お持ち帰り商品は、小樽産の水産加工品(常温販売)となっています。ご注文をお待ちしています。  
注文は、会館祭出席連絡と同時にお願いいたします。

#### 申込書

| 品 目            | 製造会社    | 価格    | 注文数 |
|----------------|---------|-------|-----|
| 北海巻(昆布巻き)数の子入り | 堀内水産食品  | 500 円 |     |
| にしん甘露煮 110g    | 堀内水産食品  | 500 円 |     |
| ししゃも甘露煮 130g   | 堀内水産食品  | 500 円 |     |
| 干し棒たら炊き 180g   | 小樽かね丁鍛冶 | 500 円 |     |
| 縞ホッケふつくら煮 170g | 小樽かね丁鍛冶 | 500 円 |     |
| つぶ貝やわらか煮 100g  | 小樽かね丁鍛冶 | 500 円 |     |
| 田舎炊き 150g      | 小樽かね丁鍛冶 | 500 円 |     |
| ヤン衆まるごと鯿 180g  | 小樽かね丁鍛冶 | 500 円 |     |

以上、宜しくお願いいたします。

キ  
リ  
ト  
リ  
✂

## 第17回市民公開フォーラムのご案内

主催：(一社)札幌農学同窓会関西支部

共催：北海道大学関西同窓会

本年度の市民公開フォーラムは北海道大学のSDGsへの取り組みに呼応する形で「持続可能な食と環境」をテーマに開催いたします。

令和3年5月に農林水産省より発表されました「みどりの食料システム戦略」は生産から販売、消費にいたるまでの食料システムを持続可能なものとするための、2050年を中期目標とする政策です。

これを受けて近畿農政局では「近畿みどり自治体ネットワーク」を立ち上げ、さらに大阪府では「おおさかグリーンアクション」をスタートさせています。

札幌農学同窓会関西支部と北大関西同窓会はこういった北大ならびに農林水産省の取り組みに対応する様々な持続可能な食と環境への取り組みについて、みんなで考え取り組むことを目指して第17回目の市民公開フォーラムを以下の内容のとおり開催いたします。

同窓会員の皆様、ぜひともご参加いただきますよう宜しくお願いいたします。

#### ◎メインテーマ「みんなで目指そう!持続可能な食と環境」

開催期日 : 2023年6月17日(土) 10:30~16:30

開催場所 : 堺市立東文化会館(南海高野線 北野田駅すぐ)

・親子で楽しむ食育教室 : 10:30~13:00

・市民公開フォーラム : 13:00~16:30

#### ◎基調講演「物質循環が成立する社会を構築する」

岩渕和則 先生 (北大農学部 循環農業システム工学研究室 教授)

#### ◎パネルディスカッション

テーマ:「持続可能な食を目指して」

パネリスト

① 岩渕和則 北大教授

② ナガセサンバイオ(株)理事 佐藤信光 氏

③ サンプラザ(株) 山口 力 社長

④ 活動発表

1) 大阪泉州農と緑の総合事務所

2) 霜野ファーム (大阪府 農の匠)

3) 山口農園 (持続可能な有機野菜)

⑤ コーディネーター

(一社)札幌農学同窓会 松井博和 理事長・久田徳二 事務局長



みどりの食糧システム戦略 伝えたい日本のサステナブル 有機農業で地域が持続継続できること ～みんなで取り組む経営～ 山口農園

#### お土産プレゼント

#### ◎会場へのご案内

基調講演、パネルディスカッションに参加、アンケートに回答された方にプレゼント



#### 交通アクセス

南海高野線「北野田」駅下車 デッキ直結西へ徒歩約2分  
北野田駅は南海高野線「なんば」駅から約20分（急行）

#### 「第17回市民公開フォーラム」参加申込み

参加申し込みフォームまたはQRコードからお申込みください。

[参加申し込みフォーム（同窓会関連） - 札幌農学同窓会関西支部 \(string-com2.com\)](https://string-com2.com)



## 北海道大学関西同窓会会報「Be ambitious」を ホームページ上に公開します

北海道大学関西同窓会  
会長 植松高志

2022年12月20日の第一回役員会にて、会報編集委員会、情報処理委員会、総務企画委員会から共同で提出された、当同窓会会報「Be ambitious」を当同窓会ホームページに公開する提案が承認されました。そこで2023年4月1日から会報「Be ambitious」をすべてホームページ上に公開致します。

公開時には以下のような対応を行いますので、何卒よろしくご了解の程お願い申し上げます。

#### ◆ 公開方法

すべての会報（会報8号を除く）をPDF化して、当同窓会ホームページに掲載します。

#### ◆ 公開対象とお願い

##### 1. 会報1号～会報87号（2022年秋発行）

会報の配布対象が当同窓会会員を前提としていたことと、既に掲載されている個人情報保護の観点から、公開対象は当同窓会会員に限定し、パスワードを入力しないと見られない設定にします。パスワードは別途お知らせいたします。

このパスワードは会員の方限定です。

会員以外の方への提供は固くお断りいたします。

##### 2. 会報88号（2023年春発行）以降

公開対象を限定しません。パスワードをかけずに一般に公開します。当同窓会の「個人情報の保護に関する基本方針」に則り公開しますので、寄稿者と広告出稿者には以下をご了解願います。

- ① 寄稿者の書かれた記事・原稿と広告は一般に公開されます。
  - ② 著作権は同窓会に譲渡していただきます。
  - ③ 郵便番号、住所、電話番号、メールアドレスは原則非掲載になります。
  - ④ 広告などで上記③を掲載したい場合は、別途ご指示いただきます。
- なお、会報88号の寄稿者と出稿者にはすでに連絡申し上げました。



## ◆掲載する目的

### 1. 会報 1 号～会報 87 号

当同窓会の活動記録として発行された冊子体で北大会館にて保管してきましたが、貴重な記録ですので、会員全員に共有できるようにします。冊子体のまま利用すると、自然劣化・損耗・散逸などの恐れもあるので、ホームページに掲載します。

冊子体については、北海道大学文書館に移管します。なお、会報 8 号は保管できていなかったもので、公開出来ません。

### 2. 会報 88 号以降

会報は、当同窓会並びに同窓会員の活動を当同窓会会員以外の方に知ってもらう良い資料です。ホームページに公開し多くの方に、当同窓会及び会員の活動を知ってもらいたいと考えます。

当同窓会会報のホームページへの掲載に当たり種々検討しましたので、公開による問題発生は少ないかと思いますが、想定外の事案など発生するかと思います。そのような場合は真摯に対応して会報の公開が同窓会会員全員の利益となるよう努めたく思います。

本件公開にあたり、何か問題や質問などありましたら以下に連絡いただければと思います。

担当者： 同窓会会報公開担当者

連絡先： メール elmkansai@yahoo.co.jp

Tel：06-6343-3736

〒530-0001 大阪市北区梅田 1 丁目 2 番 2-200 号  
大阪駅前第 2 ビル 2 階

当同窓会会報のホームページへの公開にあたり、会員各位のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

## 通常総会、特別講演会及び懇親会のご案内

北海道大学関西同窓会 会長 植松高志  
一社) 札幌農学同窓会関西支部 理事長 山田勝重

北海道大学関西同窓会の通常総会を本年秋に開催いたします。

併せて、北海道大学関西同窓会会員および一社) 札幌農学同窓会会員を対象として、北海道大学関西同窓会と一社) 札幌農学同窓会関西支部が合同で、2 つの講演と懇親会を以下の要領で開催いたします。

開催は 10 月ですので、まだ詳細は決まっておりませんが、日程と講演者をお知らせ申し上げますので、日程確保方宜しくお願い申し上げます。

出欠の連絡方法も含めて詳細が決まりましたら、北海道大学関西同窓会の一斉メールやホームページで連絡申し上げます。

日時： 2023 年 10 月 21 日(土曜日) 13:00～19:30

会場： ホテル日航大阪 4 階 孔雀の間

次第：◇13:00 受付開始

◇13:30～14:15 北海道大学関西同窓会 通常総会

◇14:30～15:30 講演 1

北海道大学大学院農学研究院院長・教授

野口<sup>のぼる</sup>伸先生(H2 農工博)

◇15:45～17:00 講演 2

北海道大学 総長

寶金 清博先生(H3 医博)

◇17:15～19:30 懇親会

以上

---

## 目 次

---

### 巻頭言

- |                         |       |    |
|-------------------------|-------|----|
| 1. 動物のお医者さんだけではなく獣医師の仕事 | 田島 朋子 | 10 |
| 2. 社会の変化とともに            | 波多 勇  | 12 |

|      |                            |       |    |
|------|----------------------------|-------|----|
| 総会報告 | 北海道大学関西同窓会 2022 年度通常総会のご報告 | 光田 正子 | 13 |
|------|----------------------------|-------|----|

|      |             |      |    |
|------|-------------|------|----|
| 特別講演 | 札幌農学校と起業家精神 | 瀬戸 篤 | 16 |
|------|-------------|------|----|

### 行事

- |                        |       |    |
|------------------------|-------|----|
| 1. 北海道大学ホームカミングデー 2022 | 松下 秀之 | 20 |
| 2. 2023 年 新年会（賀詞交換会）   | 峠 茂樹  | 22 |

### 会員活動

- |                          |       |    |
|--------------------------|-------|----|
| 1. 「恵迪寮入寮 50 年の集い」と「恵迪寮」 | 植松 高志 | 25 |
| 2. 生きる意味を求めて：私のキリスト教入信   | 藤川 晃成 | 31 |

|    |  |    |
|----|--|----|
| 広告 |  | 35 |
|----|--|----|

### 会員活動

- |                               |       |    |
|-------------------------------|-------|----|
| 3. コーヒー農園開拓へのチャレンジ            | 鈴木 功  | 41 |
| 4. ゴミ拾いと写真（もうすぐ行く三途の川での問答／想定） | 天知 輝夫 | 46 |
| 5. 僕は美男に御座す ～古代史の小径～          | 三津 正人 | 48 |

### 同窓会活動

- |                                        |       |    |
|----------------------------------------|-------|----|
| 1. 第 25 回歴史ウォーク ～比叡山延暦寺を訪ねて～           | 井上 和男 | 50 |
| 2. 「私の味づくり商品開発～味付けの流儀」によせて             | 山田 勝重 | 53 |
| 3. 二水会・三金会の講演一覧（2022 年 9 月～2023 年 2 月） | 藤田 久美 | 54 |

### お知らせ

- |                                    |       |    |
|------------------------------------|-------|----|
| 1. 札幌農学同窓会関西支部 新理事紹介 自己紹介          | 八田 方良 | 55 |
| 2. 「北海道大学中部地区同窓会 設立総会」が開催される       | 植松 高志 | 56 |
| 3. 本学関連トピックス                       | 本学広報課 | 59 |
| 4. 北海道大学関西同窓会 行事予定 2023 年 4 月～11 月 | 総 務 部 | 65 |
| 5. 2022 年度 北海道大学関西同窓会 決算報告         | 総 務 部 | 66 |
| 6. 2023 年度 北海道大学関西同窓会 役員名簿         | 総 務 部 | 67 |
| 7. 入退会者情報                          | 総 務 部 | 68 |

|      |       |    |
|------|-------|----|
| 編集後記 | 下岡 健藏 | 68 |
|------|-------|----|



田島 朋子（1979（S54） 獣医）



今年から一般社団法人北海道大学関西同窓会館代表理事を拝命しました昭和54年獣医学部卒の田島朋子と申します。北大入会取得から20年を経ましたが、今後も関西同窓会の拠点として皆さまにご利用いただけるよう尽力したいと思っています。

獣医学部卒ということで、獣医師免許は持っていますが、ずっと大学でウイルスや細菌を扱っており、臨床経験はありません。獣医師といえば、動物のお医者さんというイメージが強く、「動物病院をしているのですか」などと尋ねられることが多かったのも、実は幅広い獣医師の仕事について説明したいと思います。

獣医師の仕事は獣医－獣（動物）の医者－という言葉から想像されるだけではなく広い範囲にわたります。日本獣医師会のホームページでは獣医師の仕事は農林水産分野、公衆衛生分野、バイオメディカル分野、海外関係分野、動物愛護関係分野、野生動物関係分野、小動物臨床分野の7つに大別していますので、これに倣って説明します。

農林水産分野に従事する獣医師として第一に想像されるのは牛、馬、鶏などの家畜・家禽の診療だと思います。これらの産業動物診療獣医師には個人で開業している獣医師もいますが、NOSAI（全国農業共済協会）の家畜診療所で勤務する獣医師、地方公務員として都道府県に勤務する獣医師もいます。産業動物診療獣医師は診療のほかに、畜産農家の飼養管理や経営についての指導も行ないます。家畜人工受精師の資格も得られますので、牛や豚の人工受精も獣医師の仕事です。陸の動物だけではなく、養殖魚の病気に対応する水産獣医師もいます。養殖魚の治療薬には、養殖事業者が自身の判断で使うことのできる薬が多いのですが、獣医師の診察・処方のもとでしか使用することができない薬もあります。また、養殖魚でも感染症を予防するワクチンが使用されていますが、養殖業者は水産試験場または家畜保健衛生所の指導を受けたうえでワクチンを購入・使用（ワクチン接種は養殖業者が行ないます）することができます。

この指導も獣医師が行なう業務です。このように産業動物診療獣医師にも様々な業務があります。私が学生の頃は牛や馬などの大動物診療は男性の仕事とされていて、女性は採用試験を受けることさえできませんでした。しかし、現在は、地域によってはNOSAI獣医師の3割以上が女性です。私が指導した女性の卒業生もいろいろな地域の診療所で活躍しています。

公衆衛生分野では多くが公務員として働いています。獣医師ですと実務に就くことによって食品衛生監視員、食品衛生管理者、環境衛生監視員、飼料製造管理者、食鳥処理衛生管理者、狂犬病予防員、と畜検査員、薬事監視員、あへん監視員、毒物劇物監視員の任用資格を得ることができます。食品衛生監視員は国家公務員ですと全国の主要な港や空港の検疫所で輸入食品の監視業務を行ないます。地方公務員は多くが保健所で地域の飲食店における食品衛生の監視に携わります。集団食中毒が発生した場合の検査も獣医師の仕事です。食品衛生管理者は食品の製造・加工施設での食品の衛生管理を行ないます。狂犬病予防員は狂犬病に罹患した疑いのある犬の隔離や登録されていない犬の抑留および捕獲ができます。現在、日本には狂犬病の発生はありませんが、海外からいつ入ってくるかわかりませんので、警戒を緩めるわけにはいきません。環境衛生監視員は主に保健所に勤務して理容室、美容室、クリーニング工場、公衆浴場、映画館などに立入検査などの監視指導を行ないます。飼料製造管理者は、飼料製造事業所で飼料の安全性の確保、品質の改善を行います。食鳥処理衛生管理者とと畜検査員は食肉の安全を守る仕事です。薬事監視員は薬局・病院・診療所・家畜診療施設に立ち入り検査をし、医薬品・医薬部外品・化粧品等の安全性、有効性を確保します。あへん監視員はあへんの乾燥および保管の場所での立ち入り検査、取り締まりを行い、医療および学術研究に供する適正を図ります。毒物劇物監視員は毒物劇物関係事業者の営業の許認可・衛生監視等の業務や、毒物・劇物を取り扱う場所で立ち入り検査等を行うことで、保健衛生上必要な取り締まりや指導等を行います。このように公衆衛生獣医師は私たちの身のまわりの衛生や安全を守るために広い範囲の仕事をしています。重要な仕事なのですが、実は現在、農林水産分野の獣医師と

ならんで人手不足が続いています。獣医師確保のため、各自治体が対策を試みっていますが、厳しい状況が続いています。余談ですが、これらの資格があるため、獣医師は栄養士、調理師などの国家資格受験資格を得る専門学校や大学の公衆衛生学と食品衛生学の講義を担当することができます。私も獣医師免許のおかげで現在も私学で食品衛生学の講義と実習を担当しています。

バイオメディカル分野で医薬品の開発に携わる獣医師も多くいます。新しい医薬品を開発したからといってすぐにヒトに投与するわけにはいきません。ヒトに使用する前に安全性試験・毒性試験でその安全性を実験動物や培養細胞を用いて調べます。農薬についても同様に使用前に安全性を確認することが必要です。獣医師は試験全般に関わり、安全性を確認します。

海外技術協力や海外技術交流にも獣医師は欠かせません。JICA海外協力隊やシニア・ボランティアとして世界各地で活躍する獣医師がたくさんいます。私も長年にわたり様々な国からの研修生の受け入れや海外での研修に協力してきました。

動物愛護関係にも公務員の獣医師が関与しています。大阪府ではアニマルハーモニー大阪（大阪府動物愛護管理センター）を羽曳野市に設置し、飼い主のいない動物の譲渡のほか、ふれあい体験、飼育体験教室などを通じて動物愛護の啓蒙に努めています。また、地域ネコを減らすための取り組み

みとして避妊手術に協力したり譲渡に関わっている小動物獣医師もたくさんいます。

野生動物の保護と管理も獣医師の仕事です。怪我をしったり弱った野生動物の保護、治療は勿論のこと、多様性保全に向けた希少種への対策は野外だけでなく動物園でも重要な課題です。ジャイアント・パンダもその例ですね。また、野生動物からヒトや飼育動物への感染症を防ぐのも重要な役割です。今年は高病原性鳥インフルエンザの発生が大問題となっています。鳥インフルエンザウイルスは野生の水鳥が無症状のまま運搬したウイルスがニワトリに感染して発症します。環境省では定期的にガン・カモ類の糞便を対象として全国でウイルスの検査を行っており、ここでも獣医師が活躍しています。狭義の野生動物ではありませんが、動物園動物の診療と管理も仕事で、天王寺動物園園長の向井氏もこの分野ですね。

小動物臨床については言うまでもありません。現在は可愛いだけの「ペット」ではなく、「伴侶動物 Companion animal」と呼ばれ、家族の一員として大切にされるようになっており、診療・治療のレベルも上がっています。

このように、獣医師の仕事は多岐にわたり、私たちの生活を支えているのです。関西在住の獣医学部卒業生も小動物臨床のほか、様々な分野で活躍しています。



低温科学研究所前のハルニレ 冬と夏（1982年頃）



私は現在、事業所の職場改善や健康経営サポート、働く人のメンタル支援やカウンセリング等の業務に携わっています。製造業から人材サービス業に転職したのが1999年、就職氷河期の真っただ中でした。グローバル化により年功序列・終身雇用・企業内労働組合といった日本型経営が大きく変容し、大企業を中心にリストラで社員を減らして非正規を採用する流れが始まろうとしていました。同時に、ストレスによるメンタルヘルス問題が起き始めていました。対人援助の仕事は幅広く奥行きがあり、やりがいと面白さを感じて、一つ一つのケースから学びながら、もう20数年間も携わっています。

昨年の初夏、1ヶ月間に続けて4人もの労働災害（自殺）の相談を受けたことは大きな衝撃でした。昨日まで職場で一緒に働いていた人が突然に自死して来ない。上司、先輩、同僚や後輩は茫然自失の状態、「なぜ」「どうして」と現実を理解できない。「週末に映画鑑賞の約束をしていたのに！」「新車をオーダーして楽しみに待っていたのに！」。後になって冷静に考えると思い当たるのがいろいろあるのですが、まさかそこまでの状況だとは分からなかったのです。本人も目の前のことで精一杯で、相談するとか客観的に判断してよりよい解決策を考えようかできない状態だったのでしょう。

厚生労働省の発表によると、自殺者総数は14年間続けて3万人を超えていましたが最近では2万人余に減っています。しかし労働者の自殺者数は、交通事故による死者（2022年2610人）の2.5倍ほどの7千人弱（2021年6692人）で高止まりしています。うつ病は必ず治る病気ですが、誰でもうつ病に罹る可能性があり、罹ると自殺に至る可能性が高いことを研修や相談時に伝えていました。ですが、それほど身近には感じてはいませんでした。



旧島松駅通所（北広島市）の敷地内にあるクラーク記念碑を訪れた（右筆者）

た。今は、真剣に予防に努めるように事業所に働きかけています。職場では、一人ひとりを尊重し、コミュニケーション、声かけや助け合いが普通に行われていることが基本になります。

同窓会活動は社会とともにあり、社会の変動がそのままに映し出されると思います。同窓会参加者や役員の高齢化が顕著ですが、少子・高齢化に伴う定年延長や専業主婦家庭から共働き家庭への変化等が背景にあるのでしょうか。過重労働対策として残業は減少しましたが、家事・育児・介護等に時間が取られる人が多いと思います。同窓会活動に多くの若い同窓生を引き付けるには、活動が魅力的であり、価値があり、参加して楽しいものであることが必須だと思います。メンタルヘルス対策の視点では、職場でのストレスをスポーツ、笑い、森林浴等や同窓生との懇親の場で発散することが元気な心身を維持するうえで有効です。

私は20年ほど前に先輩から手書きでお誘いの手紙をいただいたことがきっかけで関西同窓会のイベントに参加するようになりました。そして北大会館の存在を知って定例の会合に便利に活用しています。同窓会では、よい先輩方に恵まれ、ありのままに受け入れてもらえる、居心地のよさを実感しました。今期から代表理事として北大会館の運営に携わることになりました。諸先輩方が築いて来られたベースの上に、より多くの皆様に親しんでいただける北大会館を目指していきたいと思いますので、引き続きご協力をお願い致します。



平成17年法学部法律学科卒業の光田正子と申します。初めて北海道大学関西同窓会通常総会に出席しました。懇親会で下岡健蔵編集長から Be ambitious に原稿を、と言われ、総会について報告します。まずは、自己紹介をさせていただきます。

新潟県出身の私は、中学生の時に家族旅行で連れて行ってもらった北海道がすっかり好きになり、北海道に住みたいと思いました。高校生になり、偏差値のへの字も知らない私は、「北海道大学へ行けば北海道に住める！」という単純な気持ちで北大を目指すことにしました。受験勉強を始めてから、この安直な動機ではちょっと厳しい道のりであることに気がきましたが、既に気持ちは北海道。1年の浪人を経て無事に北海道大学法学部に合格することができました。学生時代は、時間はあるけどお金はない、典型的な学生さんでしたが、あちこち遊びに行き、北海道を満喫することができました。

平成17年3月、公務員試験に合格できないまま卒業した私は、その年の国税専門官試験になんと

か合格し、関東のとある税務署の職員として働き始めました。出産しても仕事を続けたいという思いから就職先として公務員を選んだのですが、実際に働き出してみるとメリットであるはずの安定が物足りなさを感じてしまい、司法書士の資格を取得して独立開業しようと、試験勉強をするために2年弱で退職しました。その後、試験勉強を続ける中で結婚し、第一子を出産。バタバタとする日々の中で成績も伸びず合格には程遠い状態でしたが、近くに予備校もなく、娘を預けるあてもありません。このままでは10年経っても同じ状態ではという危機感から夫と相談し、関西にある夫の実家に娘と一緒に居候させてもらい、受験予備校に通わせてもらうことになりました。夫はもちろん仕事がありますので、関東にて単身赴任。夫不在の夫の実家という環境でしたが、義母には大変に良くしてもらいました。日中、娘をみてる上にお弁当を持たせて送り出してくれ、朝から晩までみっちり勉強させてもらったおかげで、どうにかこうにか司法書士試験に合格することができ



（写真1）開会の挨拶をする植松会長



（写真3）会計報告・予算案を話す入江彦副会長・会計担当



（写真2）事業報告・計画を話す福井理事・総務部長



（写真4）監査報告する福島正巳監査役

ました。ところがこのタイミングで第二子を授かりました。就職をいったん延期して何年かは子育てに専念することも考えましたが、当時既に30歳。夫とも相談し、独立を考えるなら早い方が良いとの判断で、すぐに司法書士事務所に就職し実務経験を積むことにしました。新生児を抱えたまま夫の実家にご厄介になるわけにもいきませんので、夫は関東の職場を退職し、部屋を借りて家族4人で生活を始めました。夫にいわゆる専業主夫をしてもらいながら、出産後3か月で職場に復帰して働きつつ実務経験を積み、平成28年に司法書士として独立開業しました。

北大卒業後、北海道を離れてしまい、日々バタバタの生活ということもあって、学生時代の友人たちとも年賀状のやり取りくらい。結婚して姓が変わり、住所も何度も変わっているため同窓会からの知らせなども全く届かず、北大とはすっかり疎遠になっておりましたところ、私が北大卒ということを知っていた仕事上の知人から昨年の夏ごろ北大同窓会の方をご紹介いただきました。卒業して17年が経っておりました。お恥ずかしながら、その時に初めて北大関西同窓会の存在を知りました。



(写真5) 新代表理事に就任された田島朋子氏(右) 波多勇氏(中) および伊藤靖久前代表理事(左)のご挨拶



(写真6) 札幌農学校同窓会特別会員授与式  
松井理事長より表彰を受けた山口利昭氏

さて、本題の2022年度北海道大学関西同窓会通常総会の報告をさせていただきます。2022年度の通常総会は、10月22日(土)13時30分から大阪心斎橋のホテル日航大阪にて開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大防止策を取りつつ、3年ぶりに懇親会も開催され、総勢65名と来賓7名のご出席いただきました。出席者の内訳としては農学部卒業生21名、工学部12名、理学部8名、水産学部10名、経済学部3名、薬学部2名、法学部4名、文学部2名、教育学部、医学部、獣医学部がそれぞれ1名でした。

総会は、総務部長の福井毅理事(S55理)の司会により進められ、まずは植松高志会長(S48法、写真1)から開会挨拶、続いて司会の福井毅氏(写真2)から、総会資料に従って「2022年度事業報告」が行われました。コロナ禍により様々な制限がある中で、工夫して活動している内容が報告されました。次に、会計担当の入江和彦氏(S45水、写真3)から「決算報告」がありました。2022年度は、定時総会が開催されなかったため、総会での会費徴収ができなかったものの、会報送付時に、前年度未納付の会員に2年分の会費を初めて請求した結果、年会費については予算を達成、広告費についても予算以上の収入となったことに加えて



(写真7) 特別講演「札幌農学校と起業家精神」  
札幌農学校同窓会副理事長瀬戸篤先生



(写真8) 特別講演「北大発展の歴史とSDGs」  
本学副学長横田篤先生

(一社)北大大会館事業支援金の支出がなかったため、55万円の繰越となったと説明がありました。そして、監査役の福島正己氏(S48法、写真4)から決算報告が適正であった旨の「監査報告」がありました。その後、「2023年度事業計画」及び「2023年度予算案」の説明があり、出席者全員から承認をいただきました。つづいて、(一社)北海道大学関西同窓会会館の伊藤靖久元代表理事(S42工)から「同会館の事業報告、役員人事並びに20期決算と21期予算計画」の説明があり、新代表理事に就任された波多勇氏(S43農)と田島朋子氏(S54獣)から挨拶がありました(写真5)。これをもって総会は終了しました。

次いで、14時30分からの特別講演会に先立ち、札幌農学校同窓会関西支部理事長の三津正人氏の司会により札幌農学校同窓会の特別会員の盾授与式がとりおこなわれ、山口利昭氏(S39農)が松井博和札幌農学校同窓会理事長(S47農)から表彰を受けました(写真6)。

特別講演会では、まず、札幌農学校同窓会の副理事長瀬戸篤先生(H8)から「札幌農学校と起業家精神」というテーマで講演をいただき(写真7)、北海道開拓のみならず、国際連盟事務局次長、大学教授、旧制中学・高等学校の学校長、台湾をはじめとする海外領土の殖産興業にと、多彩な人材



(写真9) 菊池洋美本学広報課長による乾杯のご発声



(写真10) 懇談のはじまり(右端が筆者)

を輩出してきた札幌農学校スピリットについて、大変熱く講演いただきました。続いて、北海道大学副学長横田篤先生(S54農)から、「北大発展の歴史とSDGs」というテーマにて講演いただき(写真8)、札幌農学校に始まる北大の歴史から、SDGsという観点に着目した現在の北大の立ち位置について解説いただき、これまで知らずにきた北大の歴史、そして今の北大の姿を知ることができました。

その後、開催された懇親会は、間中理事(H01工)の司会のもと、北海道大学社会共創部菊池洋美広報課長による乾杯のご発声から始まり(写真9)、参加者はコロナ禍を経て久しぶりの懇親会を楽しみました(写真10)(写真11)。最後は感染予防のため肩を組まずに「都ぞ弥生」を斉唱し(写真12)、閉会しました。

初めて参加した昨年の総会ですが、関西にもこんなにたくさんの先輩方がいらっしゃるのだと、とても驚きました。また、何もわかっていない私をととても暖かく迎えていただき、お気遣いいただき、大変にありがたかったです。ひょんなことからご縁を取り戻すことができましたので、今後とも、同窓生の一人としてぜひ、お付き合いいただけたらと考えています。



(写真11) 宴たけなわ



(写真12) 肩を組まずに「都ぞ弥生」を斉唱し閉会



一般社団法人札幌農学同窓会副理事長 瀬戸 篤  
(小樽商科大学名誉教授 北大農学博士)



2020年10月 北海道大学関西同窓会総会にて特別講演中の筆者

### (1) 札幌農学校の札幌開校 1875

クラーク校長、新渡戸稲造、SONYに一貫したスピリットが流れているといえ、多くの人は不思議に感ぜられるかも知れない。ところが、この3つは「Boys be ambitious!」でつながっている。札幌農学校が黒田清隆とホーレス・ケプロンの尽力によって1872年に東京で誕生し、1875年に札幌移転を完了した。初代教頭W・クラークが8ヶ月滞在し、開校からカリキュラム作成、生徒指導に尽力して離日する際、有名な「Boys be ambitious!」の言葉を残したことは有名だ。

その直後、盛岡藩士新渡戸十次郎の三男・新渡戸稲造は、それまで東京にいる叔父の下で東京英語学校（のち東大予備門）に学んでいたが、同校を退学して札幌農学校二期生として入学する。農学校生徒たちは、すべての講義を英語で受講し、全員のノートを五名の米人教師たちは次講義までに添削して返した。すなわち、米人教師は皆、ノート添削と次回講義準備を毎夜繰り返していたことになる。さらに北海道開拓使要請に基づく現地測量にも従事した。当時人口4000人と言われた札幌村にきた米人教師の行動を単純にお雇い外国人教師と片付けることはできないほど、現代の大学教師には到底なしえない超人的な貢献であった。



1879（明治12）年の札幌農学校アメリカ人教師と妻たち  
左より カッター、ホイーラー、ベンハロー夫人、ベンハロー、  
ホイーラー夫人、ブルックス、ビーボディ

出典：藤田文子『北海道を開拓したアメリカ人』  
(新潮選書 1993) P.169 より転載

米国人教師 W.P.Brooks（出典：外山滋「札幌農学校初期の教育と実学」『英学史研究』1975Vol7,P.198&201）

1851年マサチューセッツ州生まれ、75年マサチューセッツ州立農科大を主席卒業。在学中にW・クラーク学長の研究室にて学ぶ

1877年（26歳）札幌農学校教授（兼）附属農園監督。

80年（29歳）教頭心得、82年5ヶ月の休暇を得て帰国、Eva.B.Hallと結婚し札幌へ帰任。帰国まで夫人との間に二子を授かり、札幌で養育

1888年（38歳）帰国、明治天皇より勲四等旭日章を叙勲  
1889年（39歳）母校マサチューセッツ州立農科大教授、  
97年（46歳）ドイツ・ハレ大学でPh.D学位取得（新渡戸と同じ大学）

1919年（70歳）日本文部省より農学博士授与、24年夫人死去、32年（81歳）母校より名誉農学博士授与、38年（86歳）死去

「米国人教師 W.P.Brooks（Brooks 教頭は、）教場にて生徒等のあまりに学科出来ざる時は、(中略) 鼻をすすりて、涙ぐみ玉ひ、且つ平素不勉強の学生輩は、後に残していても懇ろにときふせられけり。或いは病気の為欠席せしものある時は、自ら寄宿舎まで見舞いに来りませり」

「私（Brooks）は、農業実習に1時間あたり五銭を学生に支給した。その目的は、産業振興を体感させることにあり、同時に、賃金ではなく貨幣の経済における有用性の理解にあった。(中略) こうして学生たちは有能な市民、公務員として、若いうちに産業の創出と正しいお金の使い方の本質を知ることになる。」(論文内引用英文より筆者訳)

### (2) 札幌農学校二期卒業生 新渡戸稲造とメリー夫人

これほどの手厚い教育を受けた新渡戸ら農学校生徒たちの複数が、卒業後に米国大学院へ留学した。そして博士課程が整ってなかった米国からドイツの大学博士課程に進学して博士号を取得したことは、クラーク教頭同様に自然であった。新渡戸は卒業後、約束に従って道庁に勤務したのち米ジョンズ・ホプキンス大学に留学し、のち独ハレ大学にて哲学博士を授与された。さらに、新渡戸は孤独な米国留学中に5つ年上のメリー・P・エルキントンと教会講演活動で出会い、独留学中もメリーと文通を続けやがて結婚する。

ドイツ留学を終えた新渡戸は、農学校教授（道庁技師兼任）としてメリー夫人を伴い帰国し、1891年札幌に居住する。未開の北海道に太平洋を越えて、新婚米国夫人を連れての赴任であった。一人娘を失った彼女の父親はどれほど悲しんだであろう。だが、健気にもメリーは両親にあてて、故郷のペンシルバニアによく似た風景の北海道は素晴らしいとの手紙を送る。クラークに率いられ札幌に来て教育に献身した農学校の米人教師と米国人妻たち、そして新婚で札幌に移住した新渡戸とメリー夫人に、米国流の「起業家精神」が強く感ぜられる。

さらに、メリー夫人の実家から送金された資金1000ドルをもとに、札幌で小学校以降の教育環境

が未整備な時代に1894年「遠友夜学校」が設立された。これは第二次世界大戦中に閉校されたが、開校から半世紀にわたり昼間学校に通えない札幌の青少年のために農学校と北大の教授・学生がボランティアで続けた学校であり、新渡戸は最初の校長であった（新渡戸の死後、二代目校長はメリー夫人）。現在、「遠友夜学校」の跡地に新渡戸とメリー夫人を想起する会館の建設計画が札幌市民の手により始まり、創立150周年を目前にした北海道大学と札幌農学同窓会は、その実現に向けて側面支援を開始した。会館には、英和文併記で北大に残される貴重な新渡戸や農学校関係資料が置かれる予定だ。

さて、過労により健康を害して農学校を辞した新渡戸とメリー夫人の旅は続く。はじめは台湾総督府糖務局長1901として、次に旧制第一高等学校長1906、東京帝大教授兼任1909、そして第一次世界大戦終結後の1920年ジュネーブに設置された国際連盟事務局次長へと続く。新渡戸が一高校長時代に、彼に心酔した学生との聖書読書会に参加した一高学生として、前田多聞と田島道治がいる。田島は、東京帝大進学後に東京・新渡戸邸に書生として住み込むほどに新渡戸を敬愛し、メリー夫人に慕われた生粋の門下生であった。

その後、新渡戸は自らが初代事務局次長を務めた国際連盟を日本が脱退した1933年に、カナダ・ヴィクトリア市病院にて講演旅行中に客死する。さらに、遺骨をもって日本に帰国したメリー夫人（日本名：萬里子）も、日中戦争の二年目1938年に、二人が愛した地、軽井沢の別荘で逝去した。

時ははるかに過ぎ、1945年敗戦の年、前田多聞は内閣文部大臣であり、田島は日銀参与であった。そして米軍占領下の公職追放により、これら戦前エリートは官職からの離脱を余儀なくされる。前田多聞の娘は戦前から名高い発明エンジニアである井深大と結婚していた。その縁で、1946年に娘婿・井深に乞われ、前田はSONY前身である東京通信工業株式会社の社長に就任する。SONY最初の画期的新製品がテープレコーダーであり、これが文部省とGHQの推薦により予算化され全国の学校に英語教育備品として採用された背景に、前文部大臣であった前田社長の影響力がなかったとは言えない。

同時に、東京通信工業の創業時会長は田島道治であった。田島は、宮内庁長官を経ながら、通算20年以上にわたってSONY会長、相談役、監査役を歴任した。SONYは日本が生んだ世界のブランドであり、敗戦にうちひしがれた日本人の希望で

もあった。SONY は、世界で初めて高周波トランジスタの量産化に成功し、それをういた携帯式トランジスタラジオで世界を席卷したベンチャーだ。その SONY を支えた前田と田島は、新渡戸稲造直系の門下生であった。

つまり、明治初めの農学校開校、クラークと米人教師、新渡戸稲造とメリー夫人、敗戦直後の SONY 創業、前田多聞と田島道治らを結ぶ一本の糸は、札幌農学校スピリット「Boys be ambitious！」であった。

### （3）現代日本に求められる起業家精神

だからこそ、筆者は ambitious を単純に「大志」と訳すことには難を感じる。むしろ、「ambitious＝イノベーションを可能とする起業家精神」と訳すべきではないだろうか？ 単なる立身出世主義なら、維新で敗れた東北藩出身の新渡戸稲造たちは十分すぎるほどの背景をもって農学校に入学した。だが、クラーク校長は米国流起業家精神をもって出自に係わらず農学校生徒を鼓舞したのだった。また、歴史修正主義史観に立ち、現代から観て新渡戸を含む札幌農学校スピリットは東京帝大を含む国家主義に対する民主主義の孤立したりベラルアーツ拠点であったとの戦後意見にも、筆者は同意できない。

未開の原野札幌に夫婦ともに着任し（最大3組！）、少年時代にサムライであった 16-17 歳前後の少年たちに米国流のカレッジ教育を教えようとした米国人のスピリットは、新大陸に合衆国を建国した精神を受け継ぎ、大学人として 30 歳代半ばに南北戦争に志願従軍した熱心なキリスト教徒クラークの米国流起業家精神ではなかったか。

ICT テクノロジーを駆使して世界の流通構造を変えつつある Amazon 創業者 Jeff BEZOS は、自著『Invent & Wander』で以下のように起業家精神の重要性を説く。

「創業以来、アマゾンでは「はじまりの日（デイワン）」の精神を肝に銘じてきました。つまり、すべてのことに初日と同じ活気と起業家精神で取り組むということです。アマゾンは大企業ですが、デイワン精神を企業 DNA の柱にするよう全員が努力すれば、大企業の規模と能力を持ちながら、同時にスタートアップの心と精神を持つことができますはずです。」（関美和訳、ダイヤモンド社 2021 年 P.386）

経済発展の源泉は「技術力」にある。消費が「経済」を動かすのではなく、優れた「技術力」が国民に所得をもたらし、その所得によって豊かな「消

費」が可能となるのだ。すなわち、今の日本経済の苦境は、大戦中の 1942 年に始まった「技術力」が、中国や韓国に追いつかれた結果、国内の「技術力」に高い値段をつけられずデフレが進行したためと分析される。それゆえ、新しい「技術力」に基づく新たな市場創出を行わなければならないのに、国内では「もっと所得を！消費を！」と見当違いを叫んでいる。

それでは、どうやって日本はあらたな「技術力」をもって新市場を創出すべきなのだろうか？ 世の中には、変化を先取りできる企業と、先取りできず弱体化し消滅する企業の二つしか存在しない。変化を先取りする企業は、イノベーションを企業文化に組み込んでいる。敗戦直後にオートバイ専業メーカーとして本田宗一郎が個人創業したホンダは、戦中の航空機技術者を大量に採用し、1960 年代に革新的な CVCC エンジンの開発に着手して、70 年代にシビックに搭載して成功し世界的自動車メカへと躍進した。また、1983 年に小型ジェットの機体およびジェットエンジン開発に着手し、29 年後の 2012 年に「Honda Jet」を米国で発売開始した。同機は 2022 年現在で年間 200 機の受注を受け、小型ビジネスジェットの世界第一位を達成した。

これまで我が国で起業といえば、誰かが家業を興すため他人や銀行から借金して苦勞して事業をなすものとされてきた。だが、産業革命を起こした J・ワットは無一文の若者であった。その彼を大学技手として雇い大学内で蒸気機関を改良させ、後の大学発ベンチャーを育てたのはグラスゴー大学の副学長・アダムスミス教授だった。同様に、Google が二人のスタンフォード大学院博士課程学生によって誕生した時、それを守ったのはスタンフォード大学の指導教員のチェリトン教授で、はじめに投資したのは自身が創業成功者だった友人のキャピタリストによる 10 万ドル（1000 万円・当時）の小切手だった。

蒸気機関と Google の例から、世界を変える発明は大学から生まれることは明白だ。そして、主体者たる起業家がすべての価値を創出する。だが、起業家のゴールと理念を理解し、投資するキャピタリストがいなければ、事業は生まれなし、成功しない。なぜなら、ベンチャーという新規の企てに対し、第三者があらかじめ投資する必要があるからだ。だから、起業家とキャピタリストは本来は対等なパートナーである。そして、技術者とキャピタリストの二人三脚の起業は強い（例：SONY、ホンダ、HP、Google）。

米国では、成功した起業家や教授はセカンドキャリアとしてベンチャーキャピタリストをしばしば選択する。技術（種）を育てる人がキャピタリストだとすれば、農学の現代的意義は、新たなベンチャーの種を見つけ、投資して、育てる人を意味する。過去 8 年間、筆者が監査役を兼務した東北大学 100% 投資会社（投資 1 号ファンド 97 億円）では、発足当初役員 7 名のうち 2 名、投資部員 5 名（＝キャピタリスト）のうち 2 名が農学士ないし農学修士・博士であった。つまり、幹部の合計 12 名中 4 名＝1/3 が学生時代に農学を学んだものとなる。これは偶然とは決して言えない。

### （4）あらためて：札幌農学校はなぜ設立されたのか？

何も無かった人口 4000 人の寒村「札幌村」に、我が国初の近代都市計画と北海道開発計画が策定され、我が国初の学士を育てる札幌農学校（Sapporo Agricultural College）が設立された。その目的は、北海道という新天地に新産業を興すための人材育成にあった。その卒業生たちは、北海道開拓のみならず、国内に続々と設立された旧制中学・高等学校の学校長、台湾をはじめとする海外領土での殖産興業に邁進した。二期生である新渡戸稲造に至っては、米国クウェーカー教会の有力者を父にもつ米国女性を夫人とし、台湾に製糖産業を興し、その後国連の原型となった国際連盟の初代事務局次長となり、現在のユネスコを創設した真のグローバル国際人だった。

その基礎となった卓越した語学力は、札幌農学校で学んだものだった。彼は、幕末に漢文漢詩の教育を受けた外国語に無縁な東北の貧しいサムライ子弟だった。それゆえ、筆者は英語の早期教育が最善の方法とは思えない。小学校卒業までは徹底的な自国語の文法と熟語を古典から学ばなくてはならない。そして、中学以降は日本語が全く話せない外国人からの語学教育が必要だ。その完熟度を確認する意味で、学部 2 年生での海外留学はグローバル人材として不可欠な教養となる。これは、学部卒業後のキャリア決定（大学院進学 or 就職）以前になされるべき重大事項だ。現に、EU では学部在学中の母国以外での EU 圏内留学を半ば義務づけている。

異論はあるが中国発コロナウイルスによって世界経済は 3 年間にわたり低迷し、コロナ 3 年目に入ると国連常任理事国であるロシアが国連非難決議や国際法を公然と無視してウクライナに軍事侵略を始めた。現在、1945 年以降の歴史で世界は最

大級の混乱を呈している。これら現実を直視し具体的な処方箋を描ける人材の教育が、現代日本に欠かせない。また、少子高齢化する低成長経済の日本を救うものは、起業家精神と農業観光を含むベンチャー創出しかない。そして、経済・政治ならず大学教育すら首都圏一極集中が進む今日の日本で、150 年の歴史をもって対抗できる圧倒的なグローバル基礎力のある地方大学は、東北大学と並び北大以外にない。経済と政治が集中する首都圏の高層ビル群に囲まれた大学で、広大なキャンパスで豊かなリベラルアーツ教育を望むべくもない。

今一度、札幌農学校スピリットを「イノベーションを可能とする起業家精神」として再定義するならば、今もなお全国から志溢れる青年を集める北大と農学部は、（ア）徹底的な英語専門教育、（イ）実学としてフィールドで汗を流す定期演習、（ハ）学部 2 年生で 1 年の海外留学を経た、イノベーションリーダー育成を行う必要がある。以上、札幌農学校スピリットを 21 世紀の日本の若者に注入することが、北大に課せられた 21 世紀の真の課題ではないかと、民間から国立大へ転じて四半世紀教鞭をとった筆者は痛感する。

### 経歴（せと あつし）

1958 年北海道北見市出身、83 年に英国私費留学を経て小樽商科大商学部を卒業し、北海道電力株式会社に入社。道北営業所、国際大・ニューヨーク大大学院派遣留学を経て、同社総合研究所研究員。同研究職の傍ら北大農学研究科博士後期課程農業経済学専攻に学び、95 年小樽商科大商学部助教授。1996 年北大より博士（農学）授与、2005 年国立大学法人小樽商科大ビジネススクール教授を経て、22 年定年により教授退職、同大学名誉教授。

著作（イノベーション三部作 ABC：小樽商科大ビジネススクールにおける半年 2 単位 15 コマ講義録）  
A 瀬戸『MBA のための企業家精神・講義』小樽商科大学ビジネススクール編・同文館 2012… 企業家精神について、理論・歴史・現実・実践の四点から講義形式で概説  
B 武田（元 SONY エンジニア / 工学博士）・瀬戸『イノベーションの成功と失敗』同文館 2015… 日本におけるイノベーションの成功と失敗を戦中から戦後にかけて考察し、日本人が陥りやすい構造的問題と新たな思考方法を解析  
C 瀬戸・武田（同）・金丸（弁理士）・江戸川（公認会計士）『イノベーション具現化のススメ』同文館 2021…  
B を受けて多数の読者から寄せられた要望であるイノベーション具現化のための実践方法を、現場専門家の視点により解説



松下 秀之（1979 (S54) 農化）

2022年9月24日、朝方の雨が回復してさわやかな秋晴れのなか、3年ぶりにホームカミングデー全学行事が開催されました。

素晴らしい北大交響楽団弦楽四重奏に始まり、歓迎式典で北海道大学第20代総長の寶金清博先生がご挨拶されました。北海道大学のこれまでの素晴らしい歴史について話されました。他に類を見ない美しい四季に恵まれたキャンパスについて話されました。「繋がる・拡がる、連携の北大」、「世界の課題解決に貢献する北大」、「地域課題に貢献する北大」、など多くのビジョンを示されるとともに、北大の「今」を紹介されました。そして、4年後の創基150周年に向けて、「比類なき大学を目指す」と強い決意を述べられました。

続いて、北海道大学校友会エルム会長の杉江和男さんがご挨拶されました。北海道大学校友会エルムは、世界トップレベルの北海道大学の実現を支援するため、2016年6月1日に、北海道大学連合同窓会を母体に新しい組織として誕生しました。

部局や地区同窓会など計64の同窓会を基礎同窓会として組織しています。

続いて、元北海道大学連合同窓会の会長でJFEホールディングス（株）名誉顧問の敷土文夫さんがご来賓挨拶をされました。

引き続き、北海道大学の理事・監事・副学長が壇上に勢ぞろいされ、ひとりひとり自己紹介されました。もちろんその中には、私の無二の親友である横田篤 理事・副学長、そして同窓会担当で今年の北大大会館祭に来ていただいた山口淳二 理事・副学長、産学連携の協議で北大大会館に来ていただいた増田隆夫 理事・副学長がおられました。

続いて記念講演として、北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所の鈴木定彦所長から、「結核・新型コロナウイルス感染症の陰に隠れた人類の脅威」と題した講演がありました。実は私は今回のようなリポートを書くという前提でこの講演を聴きませんでしたので、正確にご講演内容をお伝え出来ない可能性があります。ここでの説明は控えさせていただきますと思います。しかし、ひとつ間違いなく申し上げることができることは、人獣共通感染症研究は非常に重要であるということです。ヒトの感染症の60%は人獣共通感染症であり、新興感染症の75%は人獣共通感染症です。そして結核は、何百年にもわたって世界各地で蔓延し、新型コロナウイルス感染症の陰に隠れていますが、2020年の全世界の感染者は約20億人、死者は約150万人と推定され、人類の脅威であり続けています。多剤ならびに超多剤耐性結核菌の出現とその広がりがこの脅威に拍車をかけています。

次に、新渡戸カレッジ生の学生お二人から、現在の活動報告がありました。これらについても内容を正確にお伝えすることができないのですが、北大から世界へという新渡戸カレッジの教育理念に基づき、素晴らしいチャレンジをされているということを実感しました。コロナ禍で活動に大きなハンディキャップがあったなか、よく頑張ったと、これからもますます力を発揮してほしい、と思いました。

最後に、恒例の北海道大学応援団による歓迎のパフォーマンスがありました。私の記憶では、「永遠の幸」と「環珞みがく」の2曲をパフォーマンスされたと思います。まさに北大を感じたとともに

に、北大生でよかったと思いました。

最後に、私は出口のところで寶金総長をお待ちしてご挨拶することができました。「北海道大学関西同窓会産学連携委員会委員長」の名刺を渡してご挨拶したのですが、寶金先生は、「すみません、今は名刺持っていません、あとでメールします。」と仰って、数時間後にメールをいただきました。

北海道大学ホームカミングデーは、24日の全学行事のほかに22日～24日にかけて、各部局・同窓会主催の行事が行われます。私は23日に行われた、農学研究院・農学院・農学部「市民公開講座 新渡戸稲造生誕160周年特別記念講演会」に参加しました。一般財団法人新渡戸基金理事長の藤井茂さんが、「新渡戸稲造：その業績とSDGs」と題する講演をされました。1時間半の講演でしたが、実に引き込まれてしまう素晴らしいお話で、1時間半があつという間に経ってしまいました。



#### 農学研究院・農学院・農学部

#### 市民公開講座「新渡戸稲造生誕160周年特別記念講演会」

9月23日（金）13:00～14:30 対面とオンラインによるハイブリッド開催 参加者 219名

本特別講演会は、明治31年発足の札幌農林学会が開催してきた学術講演会の中の特別講演会を継承・発展させてきたものであり121年の歴史を持ちます。平成9年以来、市民公開・農学特別講演会として、広く一般市民の方々に公開しています。本年は「新渡戸稲造生誕160周年特別記念講演会」と題し、農学研究院・農学院・農学部、札幌農林学会、および札幌農学同窓会による主催、北方生物圏フィールド科学センター共催、北海道大学サステイナビリティ推進機構協力、北海道、札幌市など26団体のご後援をいただきハイブリッド形式で開催しました。

横田 篤理事・副学長、西邑隆徳研究院長による開会挨拶の後、一般財団法人新渡戸基金理事長



講演会の様子

来年も必ず、この地に、「このときに」、戻って来よう、と思いました。

（昭和54年農学部農芸化学科応用菌学教室卒業）



9月23日に農学部本館4階大講堂で開催された新渡戸稲造生誕160周年特別記念講演会で、「新渡戸稲造夫人メリー氏が1905年ハルニレの苗木を寄贈。現在、5本が残っている」と紹介された。

藤井 茂氏により「新渡戸稲造：その業績とSDGs」をご講演いただきました。新渡戸稲造の生誕と歴史的な背景の説明の後、日本最初の社会教育の場として札幌遠友夜学校を創立し、その人間愛に満ちた高い見識と実践が多くの有為な人材を輩出してきたことが紹介されました。加えて100年以上も前からSDGs（持続可能な開発目標）に繋がる先見性・先進性を持って持続可能な社会構築に貢献してきたことが解説されました。

講演会は同窓生以外にも一般市民の方やオンライン参加者を含め200名以上の方にご参加いただき、会場も満席となりました。フロアからの質問も出るなど、大変盛会となりました。



西邑研究院長のご挨拶



## 2023年 新年会（賀詞交換会）

峠 茂樹（1984（S59） 理化Ⅱ）



2023年の新年会（賀詞交換会）は1月7日に梅田の北大会館で開催されました。

COVID-19（コロナ）（以降「コロナ」）が流行した2021年、2022年は開催されなかったのが3年ぶりの開催となりました。

ここで「コロナ」に少し触れますと、2022年8月ごろに第7波がピークになり、これまでに多くの方が感染しましたが、重症化の比率が低下しインフルエンザ並みとなりました。そして、2022年秋にかけて感染者数は急速に減少し、政府は対応レベルを引き下げるタイミングを計っているとの報道もありました。しかしながら年末年始にかけては第8波がピークになり、第7波のピーク時と同じように感染者が発生している中での新年会の開催となりました。

こうした背景の中、梅田の北大会館には30名の卒業生が集まりました。昭和36年卒の窪田さんを筆頭に年齢構成は以下のようになっていました。

- ・昭和30年代卒4人
- ・昭和40年代卒10人
- ・昭和50年代卒9人
- ・昭和60年代卒2人
- ・平成卒3人
- ・令和卒2人（修士）

さて、新年会の様子ですが、代表理事の田島さんの開会宣言で始まり、波多さんの代表理事挨拶、前代表理事の伊藤さんの乾杯と続き歓談となりました。会議室の壁側にテーブルを並べ、そこにビール、お酒やオードブルが置かれての立食パーティ形式でした。

私自身は北大卒業生とはいえ、会社の先輩にあたる八田さん以外は理事の方と若干の面識がある程度で、ほぼ初めての中、どうしたものかと思ってはいました。しかし、元セレッソ大阪社長の藤田さんをはじめ何人かの方とお話ができました。私が経験していないことを皆さんは経験されており、いろいろと話を聞くことは非常に興味深いものでした。

会の最後には理事の入江さんによる抽選会があり、北海道の珍味などをもらうことができました。私はツブガイの煮物で、その日のうちに自宅でご馳走になりました。

最後はお決まりの都ぞ弥生を福井さんの発声で歌い、その後も寮歌メドレーとなりました。ここで本当はお開きだったのですが、昭和37年卒の間中さんが「高齢のため最後の参加となるかもしれない」と、出席者全員にモロゾフのチョコレートをいただきました。本当にありがとうございました。

さて、ここで自己紹介をさせていただきます。私は昭和59年理学部化学第二学科卒業です。大学では生化学を専攻していました。



卒業記念 クラブの仲間と旧恵迪寮近くの森で  
（前列右から3人目が筆者）

その関係で昭和61年に、バイオ医薬をやりたいと考えて大阪の製薬会社（住友製薬）に就職しました。その当時は日本の大手製薬会社は国内の規制に守られて、非常に景気が良かったように思います。海外製薬企業の参入がむづかしく、日本で医薬品を販売するにも日本の製薬会社と共同で販売するのが普通で、日本の製薬企業に何らかの利益が入るような仕組みがその当時はありました。

住友製薬はこの後、成長ホルモンやインターフェロンの販売をして、バイオ医薬メーカーとして名を馳せるのですが、これらの医薬品は海外製薬企業の開発品で、私はバイオ医薬の開発をすることができず、研究から離れることになりました。余

談ですが、現在はバイオ医薬品のオプジーボ（小野薬品）が売上高首位（2022年）に立つなどバイオ医薬全盛時代となっています。

その後は安全性（副作用）情報を医療機関から集めてきて、評価し、規制当局（厚労省）に報告する仕事をしていました。これら製薬企業特有の業務にコンピュータを導入するためのシステム構築を任されるようになり、最後はIT部門に異動になるぐらい、コンピュータシステムの導入・構築にのめりこみました。

この仕事に非常に興味を持っていたのは、会社でどれもやっていなかった業務であり（これは企業に入るとよくあると思います）、業界の各社でも会社に一人か二人しかいない業務であったからです。いつも手探りというような感覚でした。

さて、不景気知らずと言われ、バブルの影響もほとんど感じなかった製薬企業も入社から20年も経つ頃から徐々に雲行きが怪しくなりました。医療費が高騰し、製薬会社のもうけすぎがマスコミにもたたかれるようになりました。また、先発企業の高い医薬品を使うのではなく、安いジェネリッ

ク品を使うように薬事規制が少しずつ変化してきました。その結果、2007年に35%であったジェネリック品の使用割合が2021年には79%になるという驚くべき急激な変化が起きました。

先発医薬品企業は合併と、その後に人員の削減のために、早期退職者優遇措置を繰り返しました。私もその流れに乗って30年間も務めた企業を退職しました。その後、もう一度転職して、現在はイタリア系のコンサルティング会社で働いています。

最後に、新年会報告に話を戻して、この第8波最盛期の新年会でご高齢の参加者の皆さんは大丈夫だったのでしょうか？私は第7波の時に感染していたためかなんともありませんでしたが、実は私の娘が感染し、1月14日と15日の大学入試共通テストを受けることが出来ませんでした。新年会では私の娘が北大を受けるのですよと話したのに…。幸い共通テスト追試験を受けることができ、事なきを得ました。さらに2次試験後、めでたく北大に合格できました。新しい仲間としてよろしく願います。

1月7日 新年会 今年もよろしく！







## 会員活動

## 「恵迪寮入寮 50 年の集い」と「恵迪寮」

西日本恵迪寮同窓会前会長 植松 高志（1973（S48） 法）



入寮 50 年の集いでスピーチする筆者

### はじめに

2019 年 10 月に恵迪寮同窓会代表幹事の吉沢武治君から電話がかかってきた。「植松さんは昭和 44 年入寮で今年 50 周年、私は昭和 45 年入寮なので来年 50 周年の節目となる。そこで、昭和 44・45 年の入寮生が一堂に会し、往時を偲ぶ場を設定致したく『S44・45 入寮 50 周年企画準備会』を立ち上げます。ついてはメンバーとして西日本中心に呼びかけをしていただきたい」ということで「入寮 50 周年企画」がスタートした。

ところが 2020 年初頭からのコロナ禍により延期に次ぐ延期、この 3 年間で 17 回の会議を重ね、さらに昭和 46 年入寮も加え、やっと 2022 年 10 月 30 日と 31 日に「S44・45・46 恵迪寮入寮 50 年の集い」が開催できたのです。

\*入寮周年行事は、世代を超えて集まる地域恵迪会の「縦糸活動」に対比して、同世代の連携を図る「横糸活動」として位置づけ、各年次の同期会を組織する目的で 2013 年から進められてきた。意義・目的は、「同期の入寮生が一堂に会し往時を振り返り、これまでの 50 年の生き方を交歓しつつ、恵迪精神がどのように継承・発展しているのかを相互に確認する」とした。

### 「入寮 50 年の集い」実施内容

< 2022 年 10 月 30 日（日）>

①恵迪寮旧寮舎見学 13：30～15：00

於：北海道開拓の村

集合写真・寮歌斉唱・旧寮舎見学・開拓の村散策

②入寮 50 年の集い 16：00～20：00

於：札幌アスペンホテル

集合写真・挨拶・懇親会（参加者スピーチ）・寮歌斉唱

③二次会 20：10～22：30

於：だんまや水産札幌北口店

希望者 30 名が参加し懇親を深めた。（他は、別に二次会を開催）

< 2022 年 10 月 31 日（月）>

①北大構内散策 9：50～11：00

クラーク像前集合・総合博物館・オリンピックマラソンコース・旧寮跡・平成のポプラ並木

②現恵迪寮訪問 11：00～11：30

コロナ禍対策で、寮玄関前で説明を聞く

○参加者 56 名（S44・13 名、S45・28 名、S46・15 名）

うち、北海道から 22 名、道外から 34 名。道外からの 34 名は首都圏 21 名、東海・中部 5 名、近畿 4 名、九州・沖縄 4 名。出張先のドイツから直接参加した同窓生は皆の拍手で迎えられた。



旧寮舎前にて集合写真

### 恵迪寮入寮当時は振り返る

～入学できたが入寮できず～

私は昭和 25 年 4 月、長野県諏訪郡富士見町の八ヶ岳山麓で生を受け、高校までこの地で育った。始発のバスに乗り汽車を乗り継いで片道 2 時間もかかって諏訪清陵高校に通った。私の大学受験は安田講堂占拠騒動で東大入試中止の異常な年だった。一度提出した願書を再考するものが多く、私も受験校を変え北大を受験した。受験の時、また、運よく合格し勇躍北国に旅する青函連絡船では「都ぞ弥生」が流れた。私は旧制高校の蛮カラな学生生活への憧れもあり「恵迪寮」に応募したが、書類選考で落ちてしまった。秋の二次募集に合格しやっと入寮することができた。入寮後、所帯収入が基準を上回っていたために落ちたことが分かった。その年は年収 60 万円がボーダーラインだった



そうだ。私の家は農家。米が大豊作、高原野菜も高騰しその年は通常の2倍近い収入だったと父から聞いた。

#### ～下宿と寮の生活費事情～

下宿は学生課で紹介を受けた新琴似にある「吉田邸」で10月までお世話になった。割烹着姿の吉田さんはご主人を早く亡くされていたが、息子さんは北大工学部の助手で、北大生には理解があった。私を含め3人が下宿していた。旭川出身の表君と、東京出身のワンダーフォーゲル部員が一緒だった。彼はいつも山ばかりに行っていて顔を合わすことは稀で名前は覚えていない。部屋は私一人で続きの6畳間と10畳間が与えられた。10畳間には両側に掘り抜きの空間があり片方に田舎から送られてきた布団を敷き、もう片方には小机と座椅子を置いて本など読んだ。16畳まるまる使え広いこと広いこと。高校では柔道部、二段で主将だったが、北海道に来て運動をしていない。腕立て伏せ、スクワット、倒立歩行、時には受け身をして運動不足を補った。下宿代は朝夕の二食付きで8,000円だった。育英会から8,000円の奨学金をもらっていて、アルバイトもしたから親からの仕送りはなくて済んだ。

因みに恵迪寮での必要経費は途方もなく安く済んだ。当時の記録を見ると、入寮時に入寮費1,000円とアルバム代1,000円（アルバム委員会が設置されていて、退寮記念アルバム代が先払いされていた）を支払っている。毎月の支払は寮費1,310円（経常費1,210円、寄宿舎費100円）に食事は予約制でそれぞれ異なるが4,000円弱（朝30円、昼50円、夜65円で一日三食145円）で毎月5,000円前後であった。寮歌集の校正で苗穂の刑務所に行ったが一日の食費は160円だと聞き、寮の食事の安さに驚いた。寮の経費が安かったおかげで、皆連れ立ってよく飲みに行ったものだ。医学部に隣接する看護寮の横を通り北14条の「帝北軒モツラー」に行く寮生が多かった。帰りに看護寮の窓に小石を投げる者もいた。このコースは「モツラー街道」と呼ばれ、寮生はこの道をこよなく愛した。モツラーは樺太から引き揚げてきたおばさん（鈴木トクさん）がやっていて恵迪寮生はもとより北大生は皆大変お世話になった。雪が降った日には雪下ろしをして、お礼に熱燗とモツラーメンをいただいたこともあった。そのあったかい味は今でも忘れられない。

恵迪寮の食事は一日三食で145円とはいえ大変美味しくいただいた。朝食は、バターでとろけるどんぶり飯、昼食はカレーが人気だった。夜は23時を過ぎても棚に残っている夕食は開放されるの

で、23時前になると多くの寮生が箸とコップを携えて食堂入り口に並んだものだ。フライングしたエッセン・アタック者は懲罰委員会罰則規定により罰せられた。

今回皆に配布された資料に、当時お世話になった栄養士の川越ユキエさん（現在86歳）のインタビュー記事が掲載されていた。「400人寮生の安くて良質な食料確保が大仕事」、また「隠し味はマーガリン」と当時を回顧していた。

#### ～28教室での分散入学式と大学紛争～

下宿の最寄り駅である麻生駅から教養に近い北18条駅までの路面電車通学が始まった。しかし、2週間で休講になった。入学式は4月10日であったが、早朝、武装学生に体育館が占拠され、大学の判断でクラスごとの分散入学式となった。私はドイツ語クラスだった。堀内学長は「全学に訴える」との声明を出し、入学式は28もの教室に分かれて行われた。

4月28日には「沖縄デー」の破壊行動で大学構内がバリケード封鎖され、教養の教室に入れない事態となった。大学生になったばかりの私は大学紛争が何たるかも理解できずオロオロするばかり。後で、同じ高校の先輩から、「1952年4月28日にサンフランシスコ講和条約が発効し日本占領は終わった。同時に日米安全保障条約も発効し、沖縄はアメリカの施政下になった。それに抗議したのが沖縄デー」だと教えてもらった。



大学紛争中の教養部前（昭和44年春）

#### ～アルバイト“出面”もした～

4月28日以降は大学構内にも入れず、下宿で一人、生協で購入したラジカセを聞くぐらいしかすることもなく、期待していた大学生活は早くも「夢、破れたり」の心境だった。由紀さおりの「夜明けのスクヤット」、弘田三枝子の「人形の家」を聞くとその当時は思い出し寂しい気持ちになる。同じ高校から北大に行った同期の河西健雄君と北海道

をあちこち旅行する日々が続いた。また、アルバイトもよくした。下宿の前の道路に早朝トラックが来て、おばさんたちを乗せていく光景を何度か見かけた。思い切ってトラックのおじさんに聞くと「農作業の出面（でめん）だ」という。日雇い労働者のことを北海道では「出面」ということをその時に知った。私は農家の生まれで米作り、野菜の栽培、養蚕、酪農となんでも手伝ってきていたから農作業には自信があり、雇ってもらうことにした。特に稲刈りでは大活躍。当時、稲刈り機はなくひたすら鎌で刈る体力のいる作業だった。私は左足を延ばし15株位を抱き一気に刈る「抱き刈り」を習得していたから、一株ずつ刈るおばさん達の3倍は刈り取る。毎朝、トラックと一緒に乗っていた5人のおばさんたちは徐々に減っていき、最後の5日間は私一人になった。石狩の花畔（ばんなぐろ）の農家の主人からたくさんスイカをもらい、あちらこちらに配ったが食べきれずに困った。

#### ～自主ゼミと藤女子学園マリア像～

講義はなかなか開かれない。「自主ゼミ」に來ないかと、クラスの仲間からの誘いがあった。正門前にあった喫茶店に5人が集い、課題図書を順番に指定し、その読んだ本についての意見交換、また、学生運動の是非についても論じ合った。やっと大学生になったように思えたのは自主ゼミと称したからか。自主ゼミ終了後は「モツラー」や「おみちゃん」で500円予算の飲み会がお決まりだった。メンバーの誰かの誕生日に焼酎を飲み過ぎて皆前後不覚、藤女子学園の塀を乗り越え構内のマリア像に上り抱きついていたり、サイレンを鳴らすパトカーが止まった。5人とも北署に収監されて朝まで尋問を受ける羽目になった。大学紛争で大学構内にも入れず、フラストレーションのなせる業との理解は示してくれたが、「最高学府の学生たる者が!」ときつく説教された。その時、メンバー（釧路、青森、宇都宮、福岡、私は諏訪）のことを知ったのだが、一人は県知事の息子、3人は奇しくも警察署長の息子、私は農家の息子。私の僻みか4人の尋問は早く終わったように思えた。

#### ～帰省はヒッチハイク、北帰行は鈍行の旅～

もう一つの思い出は夏に帰省した時のこと。下宿から信州の実家まで青函連絡船以外はヒッチハイク。54台に乗り継ぎ野宿しながら10日間かけて実家に帰った。交通費は青函連絡船（確か113km）の500円だけだったことはよく覚えている。ヒッチハイクでは、競争馬を運ぶ馬運車や鉾山に向かうダンプカー、アイスクリームを卸す冷凍車など多種多様な車に乗せてもらった。新潟では長距離運転手さんの自宅に泊めていただき、翌日は温泉にまで連れ

て行ってもらうなど様々な出会いがあった。象潟海岸で寝袋にくるまって見上げる日本海の星は芭蕉の「奥の細道」の句そのものだった。

実家で1ヵ月間過ごした後、鈍行だけを使い3日間かけて大学に戻ったこともよき思い出。実家から札幌までは鉄道キロ数は約1,350km。乗り継いだ鉄道は中央本線：富士見⇒新宿⇒山手線：上野⇒東北本線：福島⇒奥羽本線：青森⇒青函連絡船：函館⇒函館本線：札幌である。当時は上野⇄青森の鈍行が1本あり、夜遅くに上野を発ち、深夜に青森に着く、実に23時間55分間の旅のことは特に思い出深い。夜汽車で乗り合わせたお爺さんはニッカのポケット瓶をやわら出し紙コップについてくれたが、話好きなお爺さんの東北弁はよく分からず、私はただ頷きただけだった。朝の通勤・通学客、昼の孫を連れのおばあさん、夕方の女学生の賑やかな会話等からは東北の人々の日常生活風景が垣間見えた。停車時間の長い駅での駅そばは実に美味かった。上野⇄青森の鈍行は何年か前になくなり、眠ることもなく興味の尽きない国鉄の旅は、今はもう経験することはできない。青函連絡船も昭和63年に廃止となった。

手を上げればヒッチハイクが出来る、「旅は道連れ世は情け」のよき時代は遠くなってしまった。

#### ～二次銓衡で憧れの恵迪寮に入寮～

昭和44年11月、あの独特で奇異な入寮銓衡（大声の自己アピール、バーベルを挙げる体力テスト、意味不明な問答）を突破し、憧れの恵迪寮に入寮することができた。秋の二次選考は寮生活に耐えられず退寮した者の欠員補充で、落ちた者もいたと聞く。実に恵迪寮は狭き門だったのだ。私は、自主ゼミメンバーで応援団員の込山久夫君に勧誘され入団したばかり。入寮銓衡委員長は応援団の先輩だと聞いていたので合格する自信はあったが体力・知力(?)を問う選考には戸惑った。（\*選考と銓衡の違いがよくわからないが、「銓衡委員会」と難しい漢字の委員会だった）

私は、新寮二階の名古屋西高校出身者の部屋に入った。その後、部屋替えの時に南寮二階7・8号の応援団の部屋に移った。7号室は机、8号室にはベッド、10人揃っての起き臥しだった。応援団はS上の8人部屋にも入っていたから3部屋を占拠する大勢力だった。応援団の活動としては、七帝戦遠征が第一のイベント、小樽商大との対面式、体育クラブの応援、全学寮歌祭の開催、それに加えて恵迪寮の行事にも力を注いだ。観桜会（円山公園）、藻岩山開き登山、観楓会（定山溪夜間行軍）、寮祭、水産学部生追ひコン（函館に移行する仲間を「都ぞ弥生」をゆっくりと歌いながら札幌駅に



送るシーンは胸を熱くするものがあった。)、ジャンプ大会(我々の時に初めて藤女子大学生に審査委員をお願いするなどで盛り上がり、TV放映もされる一大イベントとなった。同世代の藤女子大学生であった中島みゆきは北大フォークソングのメンバーと交流もあったと、最近、寮の後輩から聞いた。)、入寮銓衡委員、寮歌指導、ストーム等々。柄谷章第61代応援団長(団員は教養2年まで、羽織袴の長髪・髷面のバンカラストイル)が寮長選挙に出てあわや当選という接戦、もし当選したら大変だったと、肝を冷やしたこともあった。

応援団の活動資金確保には「強制アルバイト(アルバイト代は全て団に納める)」が重要であった。北海道神宮祭の時代行列巡行は恒例となっていて、金一封に弁当・お酒もつく美味しいアルバイトであった。また、1972年の札幌オリンピックではプレス食堂のスタッフとして各国の記者をもてなした。応援団員も、「いらっしゃいませ、ようこそ札幌へ。」と事前に勉強したその国の言葉で歓迎し、各テーブルに配膳する役であったが、長髪で髷面の笑顔は奇異に映ったのか次第に「皿洗い」に回されたことは屈辱的だった。



恵迪寮 昭和45年度アルバム応援団員

～授業再開の召集令状が届く～

昭和45年正月は信州の実家に戻っていたが、「授業再開。1月12日に大学に来られたし。」の封書が届いた。まさに「赤紙の召集令状」である。急いで恵迪寮に戻った。教養のクラスに皆が集まると、「今から2月中旬まで進級試験をする。入学時に購入した教科書から出題する。」との発表があった。皆、「講義は受けていないのに突然試験とは!!」と驚きを隠せなかった。試験は殆どがレポート提出だったので何とかなった。大学当局は、1年生が進級しないと大学入試を中止せざるを得ないという切羽詰まる状況だったのだ。私は欲張って履修届を出していたので、毎日2教科位のレポート提出で大変だった。寮の先輩にあれこれと教えていただいたこともあり、運よく「優」の評価をいただいた。学部移行の時の成績は「優が30、良が3」だったと記憶している。クラスで2番目、全体でも上位10%以内に入っていたと思う。学部移行は成績順に希望学部を申し出るようになっていて私は第一希望の法学部に移行することができた。

私の恵迪寮の1年半は大変有意義であった。構内に入るのには、ゲバ棒を持ち手拭いでマスクヘルメットを被った学生運動の闘士の検問をパスしなくてはならない。教養とは目と鼻の先ほどの恵迪寮の寮生は検問もなく、お互い頑張りとうなどの言葉を交わす間柄だった。下宿生活から寮生活になったことで無二の親友ができ、また、自治寮たる恵迪寮での体験は私の人生に大きな財産となっている。現在、自治寮で名を馳せていた東大駒場寮は消滅、京大吉田寮は大学当局に訴えられ裁判中で存立の危機にある。今回、「入寮50年の集い」に参加して、「自治の砦・恵迪寮」が札幌農学校以来の伝統精神を継承し永遠に栄えていて欲しいとの思いを強くした。参加者一同は皆、私と同じ思いを持ったと思う。

「入寮50年の集い」での2つの出会い

～高井君から『瑠美子、君がいたから』が届く～

「入寮50年の集い」から一週間後にレターパックが届いた。差出人は高井保秀氏であった。手紙を見て「入寮50年の集い」に参加した高井君(S46入寮)と懇談会で話したことが蘇ってきた。高井君は岸和田高校出身、私と松下電器で同僚だった社会人ベストナインの大投手:長谷部優君(岸高→慶大)のことや、彼は水産学部ラグビー部で活躍したが、部のマネージャーが関西同窓会の室井智子さん(S50水産卒)だったことなど、話に花が咲いたことを思い出した。彼から頂いた単行本「瑠美子、君がいたから～二人で歩んだ人生ノート

～」には感激した。340ページからなる分厚い単行本の帯には「肺腺がんが脳に転移し、がん性髄膜炎となった妻―緩和ケア病棟での233日―最愛の人との出会いから看取りまでを綴った、亡き妻への鎮魂歌(レイクエム)」とあった。あとがきには、「妻のがん性髄膜炎の症状の進行を記録に残せば、誰かの役に立つ。自分の生き方を振り返り、反省する、貴重な時間を持つことができた。本書は初めて書く妻への長いラブレターになりました。」等々心を打つ事ばかりが書かれていた。

私は、札幌から帰って1週間後に母が亡くなりお葬式で田舎に帰ったことなどを綴ったお礼の手紙を出した。また、瑠美子さんの御仏前に供えていただく、奈良の富有柿を送った。彼からも丁寧な手紙をまた頂いた。



高井保秀君著作

～塚原君から新聞スクラップ『琵琶湖周航の歌』が届く～

高井君から本が送られてきてしばらくして、塚原和俊氏から大判の封筒が届いた。開封して、懇談会でお会いした塚原君(S44入寮)であることが分かった。彼は同期の法学部卒であるがこれまで話をした記憶はなかった。懇親会の自己スピーチで私が諏訪清陵高校出身で寮歌を愛する応援団員だったとわかり、彼は私のテーブルに来て、旧制三高寮歌である「琵琶湖周航の歌」について話をしてくれた。彼は毎日新聞社に入社し、大津支局に勤務していた時に取材した「琵琶湖周航の歌生誕100周年」の連載記事を丁寧にスクラップして10枚も送ってしてくれたのだ。

私たちの高校は出身中学毎に「地方会」が編成されていて、夜を徹してのコンパでは「琵琶湖周航の歌」を6番まで歌うのが通例になっていた。「琵琶湖周航の歌」の作詞者は私の母校の前身である諏訪中学出身の小口太郎で、三高・水上部(ボート部)の琵琶湖周航の時に作ったものだ。2017年、高島市で開催された「琵琶湖周航の歌生誕100年記念式典」には私も参加したが、塚原君の記事からは新しい発見もあり大変勉強になった。中でも「1917年(大正6)年6月28日夜、琵琶湖北西部の今津町(現高島市)の宿で小口太郎が投函した1枚のハガキが『琵琶湖周航の歌』誕生の謎を解

き明かすカギとなった。」「大津市にある艇庫を発着する4泊5日の琵琶湖周航の時に、小口は今津の宿でクルーに、ボートの中で作った詩を披露した。仲間とは当時、三高生の間で流行っていた『ひつじくさ』の曲に合わせて歌い出し、よく合った。周航中に歌い続け、9月の新入生コンパ(当時は9月入学)でも紹介した。」との記事は新しい発見であった。



塚原和俊君のスクラップ

恵迪寮改修・改築問題

「恵迪寮」は、1876年(明治9年)札幌農学校が開校し現在の時計台のあたりに「寄宿舎」が設置されてから実に147年、また、1907年(明治40年)に「恵迪寮」と命名されてからは今年で116年になります。開校以来、今日に至るまで連綿と若者の人間性陶冶の道場として、新渡戸稲造、内村鑑三など、幾多の偉人を輩出し、その先人の精神やクラーク博士の教えを継承して参りました。また、「都ぞ弥生」をはじめとする恵迪寮寮歌は明治40年以來、毎年、寮生の手により作詞作曲されています。北大に入学し卒業していく北大生は「都ぞ弥生」に迎えられ、送られるのです。恵迪寮は北大の精神と文化の継承者として、北大と共に歩んできた歴史を持っています。

私が教養時代を過ごした寮舎は、1983年(昭和58年)に学部寮も統合されて農場に隣接する現在の北18条西13丁目に新々寮として移転新築され



ました。それから今年で40年となります。数年前から寮の改修の話が持ち上がっているのですが、予算の件や大学側、寮自治会側の諸事情もありなかなか進展していません。そのような状況に鑑み、恵迪寮同窓会は「北大恵迪寮改修に関する緊急アピール」を2023年2月25日付で発表しました。以下にその要点を紹介し、皆様のご理解をいただきたく存じます。

## 恵迪寮改修に関する緊急アピール（一般社団法人恵迪寮同窓会）

### 【趣旨】

本年既に築40年になる恵迪寮は、老朽化による雨漏り、漏水など、改修・改築は待ったなしの状況にあります。翻って大学構内には老朽化して改修・改築の時期を迎える建物も多く、寮舎の早急な改修・改築は先が見通せない状況にあります。（中略）

本緊急アピールは北大内外の皆様に、大学教育における学寮の重要性をご理解いただき、全国で唯一の旧制高校の寮の雰囲気の良い面を残しつつ、自治を継承している北大恵迪寮の伝統を途絶えさせず、他の多くの旧制高校の寮のように大学との対立、消滅への道を歩むことのなきよう、皆様のご理解、ご支援、ご協力を仰ぎたく、発するものであります。



平成のボブラ並木を観る



現恵迪寮前での集合写真

### 【恵迪寮同窓会からの呼びかけ】

そのため、恵迪寮継続に対する熱い思いの意思表示として、

①フロンティア基金の恵迪寮改修基金へのご寄附（1千円でも可）

②ご寄附の際に、ぜひとも「寮の改修を急いでほしい」という趣旨の一言を付記していただくことをお願いしています。

★今回のアピールは「恵迪寮改修を巡る背景・経過・現状」をご理解いただいた上で、恵迪寮改修がぜひとも必要であるという学内世論を盛り上げるため、われわれ同窓生も頑張りますが、皆様の側面からのご支援ご協力を賜りたいと存じます。



我が「都ぞ弥生」歌碑

## 生きる意味を求めて：私の基督教入信

藤川 晃成（1969（S44） 医学）



2022年6月17日、三金会で「死の考察：がん緩和ケアから」という題で緩和ケア医としてのスピリチュアルケアの重要性と、尊敬するW・フランク（オーストリアの精神科医）から受けた考えをお話しさせていただきました。その後、下岡

さんから三金会で話した内容か、他のことでもいいからと同窓会誌への寄稿を依頼されました。そこで私は今、何を書きたいのか自問して、「生きる意味を求めて：私の基督教入信」としました。私は幼少期に「死の恐怖」に脅かされた体験と、特異な環境下で過ごした影響が通奏低音のように、人生の背景にずっと流れていたと感じているので、基督教との出会いと関わりを中心に人生を振り返る機会にさせていただくことにしました。予想外の長文になってしまいましたが、下岡さんのお許しで短縮・削除せずそのまま投稿させていただくことに感謝です。

さて、私は昭和20年3月、広島県江田島の海軍兵学校の官舎で生まれました。終戦当時父は軍事教官でした。

昭和23年夏頃から話を始めます。山口県岩国市の元軍人の官舎の玄関先で、ほんの少し前まで母と談笑していた老婦人が、母にお別れの挨拶をされて玄関を出られた直後、突然「奥様、奥様、奥様、……」と、苦しそうに絶叫して息を引き取られました。私は3歳でしたが、その方の苦しそうな声、倒れて我が家の上がり框に寝かされた姿と、数名の方が集まっての会話から、その方が突然死亡されたことを理解しました。その後「死が突然やってくる恐怖」が心の奥に残りました。それは悪夢として入眠中に金縛り状態（おそらく過呼吸を伴うパニック状態に近い）を起こし、その後長く私を苦しめました。さらにその頃父に、オーストラリア領事館（進駐軍？）から「出頭せよ」との通知がありました。父は、“ニューギニア・ガダルカナル領域での戦闘に従軍していた時の捕虜の扱いに關しての審査に違いない。出頭すると当時対日感

情が非常に悪かったオーストラリアか戦闘のあった周辺の島に連行されて、極刑の可能性も高い”と判断して、突然、姿を消し、母も追うようにして姿を消しました。両親の逃亡生活が始まり、それは2年ほど続きました。両親は当初は別行動し、ときに密会し、情報交換して、父が連行されないでどう生き延びるか日々心休まることなく悪戦苦闘していたようです。母方祖母（当時50歳位で、高卒後に米軍基地に就職した長男、高校生の次女、中学生の息子、の3人と暮らしていた未亡人）はいきなり長女の3歳と1歳の私達（孫）を託されて、日々悪戦苦闘で、さぞ辛かったろうなど、この度筆を取って初めて思い至りました。当時の私は、“誰一人私をかまってくれない、居ても居なくてもいい存在”なのだ、と感じて寂しく眠れない夜もありました。悩みや寂しさを聴いてもらえる相手がいな中で、「人は死んだらどうなるのか」と考えるやや神経質な子供として育ちました。祖母が幼い孫2人を預かるのに悲鳴を上げた時、どこからか母が現れて、私1人だけを父の実家（奈良県大和郡山市）や祖母の実家（大阪府布施市：現在の東大阪市）や父の親族（奈良市あやめ池）に各1か月位預けたこともありましたが、大方は岩国市で祖母に育てられたので、岩国市には幼年時代の思い出が濃くあります。

昭和25年秋、幸い日本とオーストラリアに平和条約が結ばれて、父の戦犯関係の件は無事決着したようです。翌年4月初旬、岩国市から祖母に連れられて大阪市都島区の長屋で近隣の子供の学習塾（父は中高生の英語、母は小学生対象）を開いていた両親のもとに私1人が引き取られました。小学校は入学式から数日遅れで転校生としてスタートしました。その頃、何度も九死に一生を得た父と、常に父の生死の安否に苦しんだ母は、“自分たちは何のために生きるのか、どう生きればいいのか”と苦しむ毎日からの救いを求めて、基督教に出会ったようです。私は大阪に引き取られた頃、よく両親に連れられて、あちこちの爆撃跡のテント小屋での野外基督教伝道集會に付いて行かされました。両親に再会後数年間に、父の仕事はめまぐるしく変わりました。母は「もう父が殺される心配はないのだからいいのだ」と思うと、何でも頑張れたと言っていました。私には「一



体自分の家は何をする所なのか」「父は何をする人なのか」不思議でした。それでも小学3年の進級前に弟が岩国から引き取られ、やっと親子4人が揃って生活出来るようになりました。数年振りに弟と再会した時のうれしさは今も忘れられません。子供心にも戦友との再会のように感じました。家族4人が揃った直後から、母が、次いで父が、大阪の（土佐堀にある）日本基督教団大阪教会の日曜礼拝に行き出して、私と弟もその教会学校（当時は日曜学校と呼んだ）に熱心に出席するようになりました。私は高校3年まで在籍し、キリストと神の存在を学んでからは、死の恐怖の悪夢はすこしづつ和らいでいきました。しかし、「神とキリストの存在と永遠の生命」についてはなかなか信じる事が出来ず、受洗（入信）には至りませんでした。ところで、小学4年頃から、父は私と弟に、「将来は医者か弁護士になれ」とよく口にしました。その影響もあり、小学6年の頃に医師になりたいと考えました。元来の神経質な性格？と幼少時の環境の影響もあり、周りでは一風変わった生徒と感じられたのでしょうか。とくに小学時代は、しばしば担任やクラスメイトからのいじめを経験しました。この経験は後年、弱者に対しての共感力を養えたように評価しています。幸い家庭は少しずつ豊かになり、あまり経済的不安を感じないで過ごせるようになっていきました。大学受験前は、「死や神の存在を考えることを封印」して、昭和38年に無事北大医学部に進学できました。入学前には最も医療を必要とする人のために全力を尽くし、「優秀な医師になれなくてもいいが、良医になりたい」と思っていました。札幌では紹介されていたいくつかの教会に出席しました。しかし、私自身に大阪の教会学校時代にとても可愛いがられた甘い思い出があったこと、キリストの死と復活と自己の罪からの救いというキリスト教の根本が理解できていなかったこと、たとえ自分が罪人だとしても、世の中の平均的な人よりもいい人間じゃないかと自己評価したことで新しい環境での教会への出席は長続きできませんでした。そして、遠く離れた札幌で人生初めてのような開放感に酔い青春を謳歌し始めて、柔道部やロシア語研究会に所属し、さらに民青系の社会主義的な思想の仲間の多いセツルメント活動に加わりました。そのセツルメント活動の中で「自分は人の為に尽くして、豊かな人生を送りたい」と思っていた私は、「それはただ、自分に与えられたものから余剰分を他の人に分けて、その自分に満足し、誇りを持ちたい（プチブル的な態度）だけではないか」と仲間との交流の中で気づかされました。そしてその

自分が恥ずかしくなり自分の中に残っていたキリスト教は何だろうかと自問したとき、私の信仰は取るに堪えないと感じて求道できなくなり、いったんキリスト教の信仰からきっぱりと離れてみようと思心しました。その頃人生の後ろ盾を急に失ったような不安な日々が多くありました。それでも苦しいときは神(キリスト)に救いを求める状況で、その都度いくつかの教会の門をくぐり、神を否定しないでいられたことは、私の精神安定上は幸いでした。

大学入学以降、学業には身が入らず講義は欠席がちで、読書（とくにロマン・ロラン（作家で汎神論者）の“ジャン・クリストフ”は3回、ガンジー、ベートーベン、タゴールの伝記や、W・フランク（精神医学者でユダヤ教）の“夜と霧”“死と愛”や、霜山徳爾（上智大哲学教授でキリスト教）の“明日が信じられない”は何度も読みました）や酒に親しむ自由奔放な日々を送り、友人と“人生の意味について、宗教について”よく議論しました。そして「他の人はどうして自分のように死を気にしないで生きていけるのか」、不思議に感じていました。生きる目的や目標が不確かな状態が持続し、大胆な生き方（ハンセン病療養所や海外医療や無医地区医療などへの従事）を選ぶ勇気もなく、所属したクラブはすべて長続きせず、毎年落第（留年）すれすれで何とか進級して、昭和44年に卒業しました。その当時は全国的に医学部は紛争の真ただ中でした。進路を悩みながら、最終的に北大医学部先輩の紹介で大阪の淀川キリスト教病院（当時150床）で医師生活をスタートしました。その後、両親や弟が東京方面に移動していたので、私も何か専門を持ちたいと卒後5年目で上京し、東京女子医大呼吸器内科に所属しました。新天地の大学病院で多忙な余裕のない独身生活の中で、医師修行と共に様々な誘惑から自分を守り、恥ずかしくない人間として道徳・倫理面の向上を目指しましたが、思うように自己を律することができず、世の不平等、不公平にもいらだっていました。不幸な人々に同情する一方で、運のいい人や優秀な人に嫉妬していました。さらにある数年間はお見合いなどの結婚話が多く、かなり時間とエネルギーを使っていました。失恋も経験しましたが、お見合いではすぐに結婚を決心できればお相手に迷惑がかかると考えてストレスがたまるので、あえてお相手に嫌われるような発言を次々としてしまっていました。振り返って、その態度がいかに傲慢不遜で自己中心だったと強く反省し始めて、自己嫌悪に陥るようになりました。相変わらず死の恐怖にも時々おびえていました。身近に目標と

して真似て生きたい（ロールモデル）と感じる医師もいませんでした。多くの哲学書からも救いや道を見出せず、それらカオスのようなドロドロした自己中心のいやらしさを、自分の努力で克服し正しく良く生きて行くことは不可能と思うようになりました。そこで自己の向上と死の恐怖の克服のために私に与えられた手段は、かつて親しんだキリスト教に救いを求める以外はない、キリスト教の助けがどうしても私に不可欠だと思ひ詰めるようになりました。自分自身の泥沼脱出のために「キリスト教を人生指針・規範や、自己規制の手段や、護身用としてしっかりと身に付けたい」と願いました。何が何でも、死の恐怖を克服し、高潔や徳から程遠い自分自身から、自分を肯定できるような良く生きる人生へと成長させたかったです。そんな悲壮感の中で、自己の目標達成のために自己中心（エゴ）の塊と化し、自分が正しく生きるために、神・キリストも、仏も、何でも利用しようと思っていました。しかし、自己実現の目標が明確でないため立脚点は定まらず、グラグラして自分を支えきれなくなっていました。そんな自己優先の塊の自分を恐ろしく感じるようになり、自分は何のために生きようとしているのかわからず、日々の医師の仕事にも身が入らず、人生の危機だと感じて、**やっと再び教会に通い始めました**。そして大学に入学した頃に聞いた、椎名麟三（作家）の講演のお話が甦ってきました。それは、「僕が共産党員からクリスチャンになって一番良かったのは、死ぬときは怖い怖いと、どんなにのたうちまわってみともなくとも、もう世間のことを気にしないで死ぬのさ。神様がすべてをご存知なのだから、すべてをお任せしたら良いのだと思えるようになったからだ」でした。彼が共産党員であったときには、「自分はどんな目に遭っても、たといそれが死を意味するとも、自己の名誉を強く守り抜かねばならない。」との強迫観念の下にあったようです。結局自分は世間の評価を何よりも、気にしていたからと自己分析していました。クリスチャンになって、椎名麟三氏が自己中心から解放されたとの喜びが伝わっていました。10数年後、その言葉に強く共鳴していました。「今度こそ私も思い切ってキリストの神にお委ねして、自分中心から神様中心に生きてみよう。神様がすべてをご存知なのだからお任せしたらいいのだ。“Let it be”」と考えるようになっていきました。その後続けて教会の日曜礼拝に出席していました。そんな時、教会の役員から「藤川さん、そろそろ洗礼（信者になるための儀式）を受けられたらどうですか。」といわれて、「はあー」とぼんやりと肯定の返答を

していました。何か背中を押されてスルスルと無抵抗に進み、強い感激を感じないまま受洗しました。しかし、私は思考停止していたわけではなく、その頃には「私が生きていくのには、神、キリストに自己の首座をお任せするしかない」と強く感じていました。それは今も変わっていません。

死の恐怖と悪夢からやっと解放されたと実感できたのは、33歳のキリスト教入信以降と思います。「**超越者（神）との出会いにより死を超えたいのちが保証された**」と感じられて信仰生活を続けるうちに、“自分が消滅してしまう死の恐怖”が和らぎ、徐々に平安を得られるようになったと感じています。

もしもそのときに背中を押され一時的に抵抗を失ったようになって受洗できていなかったら、疑い深く理屈っぽい私は自分一人では入信の決心はできず、迷いの渦巻きの世界を彷徨い続けたと思います。私がそのときに入信できたことは奇跡のように思われ、今でも不思議な気がしています。さらに「もしも私が、そのときに信仰を得て教会に繋がっていなかったら、私は、今まで無事に生きて来られなかった」と、感じています。信仰を得た後、聖書の理解は変わりました。視点、視座が信仰に立脚しているの、それまで批判的視点からよく理解できなかったことが、スーッと心に入ってくることが多くなりました。何よりも「この世で隠されている良いことも悪いことも含めてすべてのことを神がご存知であり、神は人の世のあらゆる運も不運もお見通しで、人を分け隔てなさらないと考えるので不平等や不公平のない真に正しい裁きが最終的に下される」と思うと、心は平安になり、潔くすべてのことをお任せする、すっきりした気持ちになります。ところで、私は庭や家の周辺の歩道のゴミや雑草取りをして、付近の環境整備をしています。そのために個々の草花を生かすか排除するかの判断に引っ掛かりを感じることがありました。神様から見ると私は排除される側の者ではないかと不安を感じたからです。今では誤りの多いこの世の判断ではなく、神様の正しい判断には不公平や不平等はない。だから私は淡々と裁きを受けたら、それでいいのだと考えられるようになります。平安です。しかし、私の中の死の恐怖は完全に消失したわけではありません。今でも年1～2回、死の恐怖（呼吸困難や自己の消滅を連想する）で悶々として眠れない夜があります。それは私が死の恐怖（西欧では“メメント・モリ”「死を忘れないで生きる」）ことが大切にされる歴史がある）を忘れないように、間違っても克服したと傲慢にならないように警告していると考え、身の丈に合っていて、分相応かなと思っています。

死後の世界の有無に関しては、私の考えの及ぶ事ではないから、あとはすべて神様にお任せしたらいいのだと、自分に言い聞かせています。さらに私が死の恐怖に脅かされて、キリスト教に導かれたこと、医師になったこと、入信できたこと、緩和ケア医師（ホスピス医）になったことも、すべてが繋がっていて、それらは私の生き方、死に方に対するレッスン「死の準備教育」であったと感じています。一方、幼い時に突然愛する親族を失われた経験のある方には、私よりもはるかに強い死の恐怖や喪失体験を抱えて過ごされている方が、居られると思います。それらの方々や、人生の下り坂を苦しんで日々を過ごしておられる高齢者の方に、何かお役に立てばうれしいと思っています。それは私自身を支える生きがい（使命）に繋がると感じているからです。

ここで敬愛する W・フランクルの有名な人生論に移ります。「私達が人生の意味を問うのではなく、私達自身が人生から問われていることを悟ることが大切です。それは人生が各人に課している使命を果たすこと、日々の務めを行うことに対する責任を担うことに他なりません。意味がある自己の存在は、生きがいを伴います」。フランクルの人生論は、「我々は人生から何を期待できるのかの自己中心の視点から、人生は何を我々から期待しているのかという観点、すなわち人生観を 180 度コペルニクスの転回すること」だと高く評価されています。

最近私は緩和ケアの患者さんのスピリチュアルケアの現場で、より良く患者さんに寄り添えるために、仏教の教え、とりわけ浄土真宗と親鸞聖人の教理を身に付けようと学んでいます。そして親鸞聖人の“悪人正機”の教えや、「南無阿弥陀」と

自己を手放して仏に委ねて生きることが、キリストの教えと深く共通することに感動しています。キリスト教神学者カール・ラナーは、「時代、環境でキリスト教に出会わなかった人もその生き方がキリスト者として良しとされるなら“知られざるキリスト者”として救われる」と第二バチカン公会議で発言しています。最近「知の巨人」と世界的に有名な評論家だった加藤周一氏が、亡くなる前にキリスト教に入信し世間をあとと驚かせました。続いて尊敬する精神医学者中井久夫氏も、亡くなられる数か月前にキリスト教に入信されました。お二人と親しく共に無神論者仲間と信じていた上野千鶴子氏は、中井久夫氏の入信を知って「ブルータス、お前もか?」とコメントされたようです。さらに氏が「先生どうしてクリスチャンになられたのですか?」と質問された時、中井氏が「便利だからです」と返答されたことは有名です。上野氏に理解してもらうことは容易でないと思われたのでしょうか。私が継続主宰している「地域の集い場：香檳園ほっとサロン」の参加者 5 人との最近の宗教談義で、特定の宗教を持っていたのは 1 人のみで、2 人は完全に無神論で葬儀やお墓にも関心がないとのことでした。残る 2 人は「特定の宗教はないが、両親などの親しかった故人との再会の希望はあり、また祖先との何らかの絆も感じて仏壇やお墓は大切と感じている」と答えました。日本人の多くにそのような漫然とした宗教観があるが特定の宗教に属していないとの世論調査結果と同様でした。最後に、多くの宗教や哲学者が異口同音に語っているように、愛と希望と信じるもの、があれば、人（特に老人）は平安に良く生き、周囲に感謝して人生を全うされると感じています。

完



ジャズ喫茶でのお話し（中央の講演者が筆者）



市民センターでのサロンの記念写真（前列左から 3 人目が筆者）

北海道大学関西同窓会

顧問 米田 昌弘  
(昭 30 工・機)

〒 651・1132 神戸市北区南五葉五十九・二四  
FT AE XL (〇七八) 五九一・一八四・一〇

北海道大学校友会エルム

北海道大学校友会エルムは同窓生のみなさまのご登録をお待ちしております。

会員登録は校友会 Web サイトで行うことができます。

詳細は校友会 Web サイトをご覧ください  
http://www.alumni-hokudai.jp/

校友会エルム

(お問い合わせ・校友会エルム事務局)  
TEL : 011-706-2101  
E-mail : kouyukai@general.hokudai.ac.jp  
営業時間：月～金 8:30～17:00

北海道大学関西同窓会

顧問 濱本 富美雄  
(昭 32 工・土木)

〒 659・0031 芦屋市新浜町二五・一〇三  
FT AE XL (〇七九七) 三一〇・二四九

地質調査・試験・計測・測量・設計

株式会社カンキョー

代表取締役 窪田 開拓  
(昭 36 工・鉦山)

〒 561-0854 豊中市稲津町 1-1-13  
kankyo77@mocha.ocn.ne.jp  
TEL 06-6864-2061  
FAX 06-6864-4900  
携帯 090-1899-0175

NPO 法人メンタルヘルス運動のお知らせ

人間活動の原点それは心

(このことを推奨しているのが下記)

代表 久保田 浩也

[事務局] 東京神田須田  
T E L : 03-5295-2577  
E-mail : kubota@mmmpc.xyz  
(ご用件はこのメールで)

▶お問合せは、窪田開拓まで  
携帯 : 090-1899-0175

北水同窓会大阪府支部  
北海道大学関西同窓会

顧問 大野 正浩  
(昭 36 水・製)

〒 661・0035 尼崎市武庫之荘三・七・一七  
FT AE XL (〇六〇) 六四三・六四三・八〇  
携帯 (〇九〇) 五〇四五・〇五六八  
e-mail : m\_ohno1988@nishi.biglobe.ne.jp



(一社) 札幌農学校同窓会関西支部 理事  
北海道大学関西同窓会

副会長 石澤 登  
(昭 37 農・農化)

〒 567・0012 茨木市東太田二・九・一三  
FT AE XL (〇七二) 六二五・二〇九六

北海道大学関西同窓会

副会長 三上 陽一  
(昭 37 理・物)

〒 610・1141 京都市西京区大枝西新林町  
TEL (〇七五) 三三二・一八三五七

くさか基金代表  
(一社) 北海道大学関西同窓会館理事

日下 大器  
(昭 37 農・生)

〒 663・8113 西宮市甲子園口二・七・五・四〇六  
TEL (〇九〇) 九〇九七・二二五一

北水同窓会大阪府支部

顧問 徳永 徹  
(昭 37 水・製)

〒 534・0027 大阪市都島区中野町五・一・四  
携 帯 (〇八〇) 一四四三・六五〇五

Be ambitious を読もう!

北海道大学同窓生の多岐にわたる活動が読めます。  
会員の方には無料で配布します。  
会員になって下さい。

会長 植松 高志  
北海道大学関西同窓会



(一社)札幌農学同窓会関西支部

**農学部同窓生の集い!!!**

〒530-0001  
大阪市北区梅田 1-2-2-200 号  
大阪駅前第二ビル2階北大会館内  
理事長 **山田 勝重**  
(昭53 農・農化)  
TEL(06)6343-3736

(一社)北海道大学関西同窓会館 理事  
間中技術士事務所 代表  
北海道大学関西同窓会

相談役 **間中 俊夫**  
(昭37 工・機)

〒658-0065 神戸市東灘区御影山手 一-九-一〇〇  
TEL(〇七八)八五一四八三一  
e-mail: tmanakad@docomone.jp

北海道大学関西同窓会

副会長 **山田 正幸**  
(昭37 薬)

〒666-0112 川西市大和 西-一-十一-六  
TEL(〇七二)七九四一六四〇

昭和27年(1952年)5月設立  
工業薬品の製造・販売

**要薬品株式会社**

代表取締役 **嶋田 誠**  
(昭42 農・農工)

本社:〒550-0003 大阪市西区京町堀 3-2-7  
Tel 06-6445-0876 <http://www.kaname-chem.co.jp>  
臨海第1工場・臨海第2工場(堺市西区築港浜寺西町)

新コスモス電機株式会社

相談役 **重盛 徹志**  
(昭43 理(修)・物)

<http://www.new-cosmos.co.jp>

(株)地質情報サービス

取締役会長 **森泉 健二**  
(昭43 工・鉱)

TEL 職場(〇六)六三三九〇七九〇

(一社)札幌農学同窓会関西支部  
京都大学名誉教授

顧問 **天知 輝夫**  
(昭38 農・農化)

〒520-0022 大津市柳が崎九番 一-三三-三  
FTAE XL(〇七七)五七二六五八八

北海道大学関西同窓会

顧問 **水内 修**  
(昭39 経)

(一社)札幌農学同窓会関西支部

顧問 **和田 武夫**  
(昭40 農・農化)

〒569-1024 高槻市寺谷町 二-四-一八  
TEL(〇七二)六八九一六五八  
e-mail: wada.takuo@nips.jp.la.or.jp

石原産業株式会社

社友 **織田 健造**  
(昭41 理・地産)

〒665-0845 宝塚市栄町 二丁目六-二-二〇七二  
TEL(〇七九七)七五九八二七  
e-mail: kenz3914@ycl-so-net.ne.jp

特定非営利活動法人  
大阪府砂防ボランティア協会

顧問 **丸山 明**  
(昭43 工・土木)

e-mail: osakasahovo@icaocn.ne.jp

(一社)北海道大学関西同窓会館 代表理事  
(一社)札幌農学同窓会関西支部 相談役

**波多 勇**  
(昭43 農・農化)

産業・キャリアアカウンセラ―中小企業診断士  
個人と組織を癒すこゝうべ人間関係研究所

**田中 貞之**  
(昭44 農・生)

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家 一-三三-二六  
TEL(〇七八)八四二五四六二  
e-mail: sada@tanae@vixen.ne.jp

阪堺石油株式会社 会長  
北水同窓会大阪府支部 理事

**久保田 幸一**  
(昭45 水・化)

携帯(〇九〇)八三八一〇八七五

Be ambitious 88号の発刊に協賛します。

**下岡 健藏**  
(昭45 工・応物)

**日沖 勲**  
(昭40 農・工)

**本間 一郎**  
(昭30 工・鉱)

(株)タクマ

名誉顧問 **手島 肇**  
(昭42 工・衛)

<http://www.takuma.co.jp>

(一社)北海道大学関西同窓会館 代表理事  
西日本恵迪寮同窓会 相談役  
北海道大学関西同窓会

副会長 **伊藤 靖久**  
(昭42 工・建)

〒665-0886 宝塚市山手 西-二-九-四  
FTAE XL(〇七九七)八九一四三五一  
e-mail: yasuhisa\_ito@nifty.com

北水同窓会大阪府支部

顧問 **入江 和彦**  
(昭45 水・漁)

携帯(〇九〇)三六七六五〇〇一  
e-mail: kaz-rie@gk3-so-net.ne.jp

西日本恵迪寮同窓会 相談役  
北水同窓会大阪府支部 理事

**浦谷 義博**  
(昭45 水・水化)

〒520-2421 野洲市野田 一六七九



(一社)札幌農学同窓会関西支部

相談役 **三津 正人**  
(昭45 農・農工)

〒562-0045 大阪府箕面市瀬川 一-九-二四  
TEL(〇七二)七二四一六八〇五  
e-mail: masatomitsus322@gmail.com

おしよる丸IV世をイメージ

**ボビサス**  
株式会社 藤井ふとん店

創業 1870年(明治3年)  
2020年:株式会社設立

代表取締役 **藤井 英嘉**  
(昭61 水・漁・測器)

〒561-0881  
豊中市中塚塚 2丁目 27-22 (阪急岡町駅:原田神社正門鳥居前)  
TEL(06)6852-5253 FAX(06)6843-2393 携帯080-1975-8008  
e-mail: hidesannmaru3@yahoo.co.jp  
HP: <https://rurihall.com> (時間貸しスペース:るりホール)

Boys, be ambitious like this old man.  
(教え子達よ、この老人の如く大望にあれ)

この言葉から我々の会社のブランドを **ボビサス** と名付けました!  
我々は大きな志を持って社会に貢献する企業を目指します!  
介護用具貸与・販売、介護支援、寝具販売、不動産賃貸、  
各種サポート業務を通じて、皆様のお役に立つ会社に!

丸二倉庫株式会社

代表取締役 **湯川 康史**  
(昭47 経済)

(一社)北海道大学関西同窓会館

**亀田 康二**  
(昭47 農・農化)

TEL(〇七五)七二二八四一四

株式会社セレッソ大阪取締役相談役  
(一社)セレッソ大阪スポーツクラブ 理事  
北水同窓会大阪府支部 顧問

**藤田 信良**  
(昭48 水・漁)

〒554-0042 大阪市此花区北港緑地 一-二-二五  
TEL(〇六)六四六四一一一〇  
e-mail: n.fujita@cerzo.co.jp

北海道大学関西同窓会

会長 **植松 高志**  
(昭48 法)





# 関西初の 6次化産業を目指して!



サンプラザグループは、植物工場による葉菜類の生産に続き、ハウスによるトマト栽培(1次産業)、食品加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)とグループ力を結集して、新たな価値を創出します。



令和2年4月 トマト栽培を開始  
(泉南市)



## トピックス

新店 堺東駅前店: 令和3年4月1日オープン  
松原大堀インター店: 令和3年7月28日オープン



**SUPERMARKET**  
**Sunplaza**

**Sun Essen**

本部 植物工場 587-0013 599-8531

(株)サンプラザ 取締役会長  
(株)サンエッセン 代表取締役社長  
大阪堺植物工場(株) 代表取締役社長

**山口利昭** (昭39 農・経)

<http://www.super-sunplaza.com/>

**府大 大阪府立大学**

**マルシェ**

<http://www.fudai-marche.com/>

大阪府堺市美原区真福寺240  
大阪府堺市中区中百舌学園町1番1号  
大阪府立大学中百舌キャンパスC22棟

TEL(072)361-3033 FAX(072)361-3155  
TEL(072)240-1051 FAX(072)240-1052

## コーヒー農園開拓へのチャレンジ

鈴木 功 (1978 (S53) 農・農)

### 1. 初めてブラジルの土を踏む ～農場体験そして研修時代～



サンパウロ～アチバイヤ: 50 km アチバイヤ～サンゴタルド: 700 km  
サンゴタルド～パラカツ: 300 km パラカツ～パライズ農場: 85 km

私たちの農場パライズ農園と足跡

1980年3月、私は25歳、私たちを乗せた飛行機はブラジルに到着しました。初めての外国で、戸惑いながらも、見るもの聞くもの全てが新鮮で、胸躍りました。

私たちは、サンパウロ州のアチバイヤ市にある移住研修所で一週間ほどブラジルの生活に慣れるための研修を受け、その後それぞれの配属先に散ってゆきました。私を迎えに来てくれたのは、同じアチバイヤ市で花卉栽培で大成功を収めていた平中信行氏(山口県出身)でした。

平中氏は、その頃日本政府とブラジル政府の最初の共同プロジェクトである「セラード開発: パ

ダップ開発区」に進出し、広大なセラード開発に邁進していました。

私は「どうせブラジルに行くなら、広大なところで働きたい」と心に決めていました。セラード開発地区で夢を実現しようとしている平中氏に受け入れてもらう事前約束でブラジルに來たので、1ヶ月の間サンパウロのアチバイヤ市にある花農園で心身を慣らした後、ミナスジェライス州のサンゴタルドに行くことになりました。アチバイヤからサンゴタルドまでは700 kmの長距離で、車で平中氏に連れて行ってもらいました。

長い坂道を登ってゆくサンゴタルドは標高1000 mの高原地帯で、上りきったところから眼下に広がる壮大な景観を見たとき、「これがブラジルなんだ、これからここで、私の人生をかけた挑戦が始まるのだ!」と感動とともに深い覚悟がひしひしと定まってゆくのがわかりました。

サンゴタルドのセラード開発は「パダップ開発区」とよばれ、日本人が組織したコチア組合を中心として進められており、日系人の家族が70家族ほどいて、活況を呈していました。パトロン(雇用主)の平中氏はこの開発区に2ロッテ(約600 ha)を所有し、開発を進めていました。そこに、永年作物としてアボガドを20 haほど、そして広大な平地には大豆とトウモロコシ、フェジョン豆などを植えていました。

私は現地の支配人の林さん家族と町に住みながら、10 kmほど離れた農場に通い、仕事を覚えてゆきました。主な仕事はトラクターでの仕事になるのですが、デスクハロー(碎土整地農機具)などをかけるときは、もうもうたる埃の中、仕事が終わる頃(夕方5時)には、身体が埃だらけになり、身体も顔も埃だらけのひどい状態で、どれほど埃を吸ったかわかりません。よく、肺の病気にならなかったものだと思います。その頃は衛生観念もなく、マスクなどはしなかったのです。

ただ楽しい思い出もたくさん作ることができました。日系人の若い子女たちとバレーボールをしたり、魚釣りに行ったり、またブラジル人の若者たちの中にも積極的に入ってゆき、交流しました。日系や、ブラジルの若い娘さんたちは、日本から來た若者が珍しかったのか、積極的に近づいてきて、盛んに話しかけられました。まだ、ポルトガ

ル語がよくわからなかったので、いつも辞書を片手に身振り手振りで会話を進めましたが、皆、明るく、開放的で、積極的なので、油断をすると、ふざけて抱きつかれたり、キスされそうになったり、日本の田舎育ちの私には、戸惑うことが間々ありました。

ここで2年間過ごした後、私はセラードのほかの地域のことも知りたいと思い、サンゴタルドでお世話になった日本人、佐藤公三氏（コチア青年の成功者で1000 haほどを所有）の世話で、第2次のセラード開発が始まっていたパラカツ地区の浦河照正氏を紹介いただき、そこで働くことになりました。この開発区はムンドノーボ（新世界）開発区と言われ、浦河氏の農場はパラカツ市から100 kmほど離れたところで500 haほどの大きさでした。浦河氏もコチア青年出身で奥様は日系2世のマルガリーダさんで、日本語もよくわかり、とてもよくしていただきました。

農場には、コーヒーが20 haほど植えてあり、ここで始めてコーヒー管理のノウハウを覚えてゆきました。そのほかはサンゴタルドですでに経験済みの雑穀だったので、浦河氏は、大まかな指示をするだけで、ほとんどを私に任せていただいたので、のびのびと、思い切って仕事をすることができました。ただ、今までの2年間に覚えたポルトガル語ではまだまだ不十分だったので、昼は仕事に精を出し、夜はポルトガル語の勉強に集中しました。8時から10時ごろまで勉強することを日課にしましたが、何度も、机にうつぶせになりながら眠ってしまい、気がつくと深夜12時を過ぎていることがよくありました。自炊生活の中、独学で、読書書き、会話をマスターしようと奮闘したことが懐かしく思い出されます。



たまの休みに釣りに出かけ黄金の魚ドラードを釣り上げ得意満面 重さ17 kg は地域の新記録だった

そんな苦闘の日々だけだったわけでもなく、このパラカツ地区でも青年時代の楽しい思い出をたくさん作ることができました。たまの休みには、町の浦河氏の家に寝泊りさせていただきながら、日系子女やブラジルの若者たちとの交流を積極的に持つことができました。特にブラジル人の若者たちとは、頻繁にパブやダンス場に出かけ、そこで出会う若い娘さんたちとの交流はにぎやかで楽しいものでした。ポルトガル語会話を習得するのにも役立ったと思います。はっとするような美少女たちが、気軽に近寄ってきて話しかけるし、仲間のブラジル人若者たちはもう知り合っているのか、賑やかに話が弾みます。ある時などは隣にいた友人がニヤニヤしながら「鈴木、気に入った娘はいるか？ いるなら俺に言え。段取りをつけてやるから。あれを忘れるなよ！」などと言われました。私は「はあー、ブラジルって凄いなあー、簡単なんだなあー、でも、こんなのってちょっと、…」と遠慮しましたが、今ではその頃のことが全て楽しく思い出されます。

ただ、こういった友人たちはよい連中なのですが、深く付き合いだすと間違いを犯すこともあり、どうなるか分からないので深入りすることは避けました。その判断は正しかったと思います。大きな実現すべき夢があったし、小さな町なので日本から来た青年は目立ち、何か間違いを犯したらそのうわさが広がり、日系人（パラカツの日本人はほとんどがブラジル生まれの日系人です）たちに迷惑がかかるからです。やはり、日本人としての誇りを持って生きることが自分にとっても、自分が所属する団体や国にとってもとても重要なことなのです。



パラカツの浦河氏の農場での苦闘時代 仕事も勉強も大変だったが充実の日々を過ごした

## 2. 最愛の妻 真理子を娶る

さて、パラカツで3年が過ぎる頃、私はすでに30歳になっていました。結婚や、独立のことなども考え始めていたのですが、ちょうどその頃、パトロンの奥様、マルガリーダの妹がサンパウロの大都会から、農場に遊びにやってきました。マルガリーダから紹介され、夜には一緒にパブなどに出かけました。自然の成り行きか、お互いに気に入り、付き合いが始まりました。マルガリーダも浦河氏もそれを意図していたようです。彼女は早苗といい、サンパウロの大都会でOLをしていました。

彼女がサンパウロに帰った後、文通（ポルトガル語）で親交を深め、お互いに結婚を約束し合いました。浦河氏もマルガリーダも大賛成で後押ししてくれたので、最終的に、結婚式の段取りや、その後の生活などの細かいことを決めるために、私は1000 kmもはなれたサンパウロにバスで行きました。しかし、彼女に会うと様子が少し変なことに気づきました。そして、彼女は心が変わったことを私に告げました。彼女が言うには「姉の農場とはいえ、都会しか知らない私は、何もない田舎で生きてゆく自信がない」と言うのでした。何度も話し合いましたが、彼女の決意は固く、私はあきらめるほかありませんでした。このときに感じたやるせなさ、寂しさ、悲しさはとても深く、傷ついてパラカツに戻ってきました。でも、人生って本当に不思議なものですね。後に早苗が心変わりしてくれたことを、天に感謝するようになるのですから…。

パラカツに戻ってからは、しばらくは酒ばかり飲んでいました。仕事はそれなりにしていたのですが、やはり心の傷は大きく酒で忘れようとしていたのでしょう。そんな最中に現在の妻、真理子との出会いがあったのです。真理子は19歳、私は31歳でした。



パラカツ日本人会館で行われた披露宴

お互い好きになり、順調に交際は進み、私が32歳、真理子が20歳の1986年7月12日にパラカツの教会で結婚式を挙げ、披露宴はパラカツ日本人会館で行いました。このときの様子や結婚までのエピソード、写真などを結婚30周年記念の時に私のFBに投稿しましたので、ご参照ください。

<https://www.facebook.com/isao.suzuki.9231/posts/pfbid0tAm3AaZC5aecdTt3bpxByrZgygZBpJzsgEtH2ZPd1kWhSg91tBzv291ekMSCx4ful>

この結婚後、浦河氏にプレゼントしていただいた資金で、妻を日本の家族、親類、友人、知人などに披露するためもあり、ブラジルに来て以来はじめて日本へ里帰りしました。各地で盛大な宴を張っていただきました。そのときに、以前から相談していた独立資金のことで両親に援助していただくことになり、その資金を元に、帰伯後、浦河氏の農場の近く（10 kmほど）に、63 haの土地を購入し、開拓を始めました。当初は浦河氏の農場に住んで、浦河氏の農場の仕事をしながらの開拓でしたが、やはり何かと不便なので、浦河氏と話し合い、私は浦河氏の農場を出て、自分の農場に移り住み、開拓に専念することになりました。



最愛の妻「真理子を娶る」 新婚旅行で訪日。母の希望で和服姿の真理子を写真館で撮った。

## 3. 自分の農場開拓

### ～掘っ立て小屋からのスタート～

開拓するといってもまだ電気も何もなくだったので、まずは掘っ立て小屋を建て、井戸を掘り、そこから水を汲み、真理子は農場に豊富にあった薪を炊いて料理を作りました。照明はプロパンガスのガス灯でした。ガスがもったいないので、早寝早起きに徹しました。資金が乏しかったので、とにかく儉約できるものは全て儉約し、機械類は浦河氏から譲っていただいたトラクターが一台あるのみで、そのほかの機械類は（播種機など）隣の農場などに借りて仕事をこなしました。何もかにも不足して不便な生活でしたが、二人とも将来への夢と希望に燃えていたので、その頃は本当にイキ



イキワクワク、開拓に精を出すことができました。今でも鮮やかにそのころのことを思い出しますが、私たちの二人の人生の黄金期だったと思います。



掘って立て小屋・茅葺の簡易倉庫を建てるためトラクターで地均し、農場に建てたプレハブの我が家 ここを拠点に開拓が始まった

開拓には危険も付き物で、開拓当初、猛毒を持った毒蛇（ガラガラヘビなど）や、サソリなどがうじゃうじゃいるので、注意しながら少しずつ開拓してゆきました。パラカツの町まで 100 km もあり、しかも土道なので咬まれたら大変です。実はそれからずっと後の 2014 年 2 月 6 日にガラガラヘビに咬まれ、危うく死んでしまうところでしたが、妻、真理子の機転で命拾いしました。その記事も私の FB に投稿してあるので、参考にしてください。

<https://www.facebook.com/isao.suzuki.9231/posts/pfbid02bY77PC5kMikXqDVNmTg1itnHxRNj7wu6VVTJLLd8aCGC5ccChBNZ5M8Zvz8Xk4kk1>

開拓初年には 10 ha にコーヒーを植え、残りの土地 24 ha に米を植えました。米のできはあまりよくなく、資金も枯渇しそうになりかなり窮乏しました。何とか耐え忍び、2 年目にブラジル人が常食としているフェジョン豆を植えました。これが生産量がよく値段も高値で売れ、資金的にだいぶ楽になりました。その資金で中古の機械類なども購入し、意気揚々としていました。そして、もっと生産を増やそうと、農場を抵当にして銀行の融資を受け新しい農業機械なども購入しました。



1987 年の最初のコーヒー 10hr. の植え付け模様

#### 4. 人生最大の危機 ～借金がどんどん膨らむ～

ところが、その後、ブラジルのインフレ、天候不順、選択作物の失敗などもあり再び窮地に陥りました。銀行への返済が滞るようになり、利子もあいつまって借金残高がどんどん膨らみ、ついには抵当に入っていた農場の資産価値よりも大きくなり、農場を売り払っても全額返済できないまにになってしまいました。

人生最大の危機でした。農場を売り払い、敗残兵として日本へ出稼ぎにゆかなければならないのかと思うと、奈落の底に沈んでゆくような気持ちになり、暗澹たる思いに呻吟しました。ついにはご飯も喉を通らず、夜も眠れなくなり、完全にノイローゼ状態に陥ってしまいました。自分の気持ちを思うと無理もなかったと思います。父母の反対を振り払い、北大や中高時代の友人たち知人たち全てに、必ず成功して錦を飾ると勇ましく日本を後にしてきたのですから…。

その当時は、私はまだ唯物史観に染まっており、物質的な成功が人生の全てで、喜びも幸せもその中にあるのだと信じていました。ですから、敗残兵として日本へ出稼ぎに行くなど、とても堪えられない思いでした。そんな状態が 1 週間も続いたのでしょうか。こんなに苦しむなら自殺したほうがましだとも思い始めていました。

そんな時、ふと、妻を見ると、何事も無かったようにせっせと家事をこなし、てきぱきと野菜作りにも励んでいます。夜は私が眠れないでいるのに横でスースーグーグーと気持ちよさそうにぐっすりと寝ているのです。食時の時に聞きました。「お前は農場がつぶれそうなのに心配は無いのか？」と。妻は「一生懸命やって、潰れたのならしょうがないでしょ！でもしっかりやれば、どうやっても食ってゆけるんじゃないの」というのです。そして夜は私の横ですやすやと寝ているのです。そ

れを見て、私はそれまで築いてきた私の価値観がガラガラと音を立てて崩れてゆくを感じました。

それまで私は妻に対し、一種の優越感、驕りのようなものを持っていました。私はそれなりの大学を卒業し、体も丈夫で体力知力ともに優れていると妻に対する驕りがあったのです。妻は中学しか出ていませんから。ところが、この困難に遭遇し、私の培ってきたもの、特に知識的なものは何の役にも立たずおろおろするばかりです。それに反し、妻がそれまで培ってきたものは妻自身をしっかり支え、この困難な状況でも、やることをしっかりやってゆく基盤となっていたのです。

私はいったい今まで何を学んできたのだろう、このような状況になっても動じないでやっていけるようなものを自分の中に育みたい、そのためにはいったい、どうすればいいのか、真に価値あるものとはなんだろうと思い始めました。そこから、目に見えない世界への探求が始まったのです。いびきまではかいていませんでしたが、横でスースーと安らかな寝息を立て寝ている妻の姿を見てそれまでの価値観がガラガラと崩れてしまったことが、私の精神世界への目覚めの第一歩となりました。

そのときは、日本へ出稼ぎに行っていた妻の両親に、老後のために貯めていた資金を貸して頂き、急場を凌ぐことができました。義父母たちは、返せるめども立っていない私に、それまでせっせとためていた資金で援助してくれたのです。日本の両親もそうですが、親とはなんと有難いものだと心から感謝の念が湧いてきて涙にくれました。ご恩を一生忘れず、恩に報いるためにも全身全霊をこめて仕事に精を出しました。その甲斐もあって、運も上向き、徐々に借金返済のめどが立ってゆきました。

#### 5. 精神を鍛える ～農業のあり方を考える～

この頃から、私は自分の精神を立て直すために、様々な精神世界の学びを始めました。広池千九郎博士が創設した「モラロジー」、谷口雅春氏創設の「成長の家」、丸山敏雄氏創設の「倫理研究所」、大川隆法氏の「幸福の科学」、そのほかにも、聖書や仏典、論語なども積極的に学ぼうとしました。また精神性のすばらしさを説く日本の作家たち、神渡良平先生、中村天風先生、鈴木秀子先生、船井幸雄先生、飯田史彦先生などなど、多くの精神世界の著者たちの本を求め、むさぼり読みました。そして、神渡先生の紹介で知った日本の月刊誌「致知」は私に人生の指針を与えてくれる、大切な愛読書となりました。

これらの精神世界の様々な教えや先生方の影響を受けたのだと思います。精神性を大切にする先生方の多くが自然との調和や共生を折に触れ訴えており、私は現代の農業のあり方に次第に疑問を持つようになっていました。

農薬や化学肥料を多投して、土壌や自然環境を破壊し、生産された農産物も残留農薬の問題などで決して健康によいものではなく、かえって消費者の健康を害している面もありました。これではいったい何のために農業をやっているのか意味がないのではないか。ただ単に、自分が儲けるため、利益を出すただけに活動しているのなら、社会や国、この地球にとっても何の存在価値もないのではないか、。

私はいろいろと迷いながらも学びを深め、やはりどうせやるなら、生産物が真に人々の健康や喜びに役立つものを作りたい。そして、その生産過程が自然環境や地球の蘇生に役立つような農業をやりたいと思うようになり、一抹の不安はありましたが、思い切って 2003 年より正式に無農薬有機栽培に移行しました。しかし、「言うは易く行いは難し」。有機栽培に移行してもコーヒーの場合、3 年間は移行期間で、有機認証はもらえず、有機コーヒーとして高値では売れません。そして、無農薬、無化学肥料の有機栽培に移行すると、たいていは病害虫が多発し生産性も品質も落ちるので、踏んだり蹴ったりとなるのです。多くの有機栽培移行者がここで脱落します。案の定私にもその危機がやってきました。破産の危機を回避するために様々の試みをしましたがついには行き詰まり、どうしようもなくなりました。しかし、もう農薬や化学肥料を多投する慣行栽培には戻りたくない。

様々に思案した挙句、妻とも相談して、この有機栽培を何とかして成功させるためにも、私ひとりで日本へ出稼ぎに行く覚悟を決めました。妻と子供たち 3 人を農場に残してゆくことはとても危険で不安も大きかったのですが、もうほかに道はありませんでした。妻の真理子も「大丈夫、何とかかなるわよ。農場は私がしっかり守るから心配しないで行ってらっしゃい！！」と健気に言ってくれました。ここでも妻の真理子は物に動じない不動心の一端を見せてくれ、それが私を後押しし、あれほど嫌がっていた日本への出稼ぎを決断したのでした。

(続く)

## ゴミ拾いと写真（もうすぐ行く三途の川での問答／想定）

天知 輝夫（1963（S38） 農化）



（閻魔大王）お前は前世で何をしてきたのだ？

（私）はい、ゴミ拾いと写真をしていました。

（大王）ゴミは汚い、そんなのが体に着いた貴様は極楽には行かせられんぞ。

（私）はい、承知しています。マンションのエレベータで一緒になった方には少し匂っていたかも知れませんが、でも生ゴミは発酵していて、いろんな微生物が私をコロナウイルスからも守ってくれていたのです。発酵したフナ寿司も臭いけど体にいいというでしょう（免疫力向上！）。廃棄プラは微生物が分解できないので海底や湖底に堆積するのです。

（大王）人間は良かれと思ったプラで環境を破壊している。愚かじゃな！そういうえば、プラ分解菌を見つけたのは日本人じゃった。世界の研究者も実用化に向けて努力しておるな。それはいいとして、写真はどうか。人様に迷惑をかけなかったか？

（私）もうすぐここへ来る家内には迷惑かけました・・・

私の師匠は「写心道」を目指せと言っていました。心で撮れと。その心が見てくれる方に感動を与えると！ まあ、持ってきた写真を見て下さい。静かな琵琶湖の朝です。早朝に柳川の橋上から朝日を撮っていましたらサギが飛び立ったりして・・・すごいところに来たかと写真熱に火がつかしました。こんな朝のゴミ拾いはいいものでした。

（大王）よくわかった。やはりお前は「アホ」だな。そんなのでよく世渡りができたもんだ！アホと分類するけど、まあ極楽へ行ってもよろしい。

（私）＜ここで夢が覚める＞はい、有難うございます。それではもう少しゴミ拾いをしまして、足腰がダメになりましたら、早めに呼んで下さい、お願いします。

ゴミ拾い、今日も元気で背中曲がる・・・

（2021. 8 記）



琵琶湖の伝統的な漁法「エリ」と渡り鳥群舞



我がマンションの浜辺でのウロコ雲



我が地「柳が崎」を流れる柳川の未明  
（早起きのシラサギと釣り師）



朝日に映えるオニヤンマの羽化



古い止まり杭



朝日に映えるカモメ群、雪の比良山の遠望



静かな朝（マンション 13 F より）



カモメ群遠望



雲の映り込みにヨット



## 仏は美男に御座す ～古代史の小径～

三津 正人（1970（S45） 農工）



### ・飛鳥の大仏～歴史の証人

明日香を巡るのは自転車が便利である。なんといっても自由に動ける。その日は石舞台を通り飛鳥寺を目指していた。飛鳥寺は物部氏を倒し権力の絶頂にあった蘇我馬子が建立した寺である。「法

興寺」と号したこの寺は6世紀末から7世紀初めの創建とされ、当時は南北に324m、東西に210mの大きさの一塔三金堂式伽藍であったことが知られている。平城京遷都により奈良市に移された法興寺は元興寺と呼ばれているが、蘇我馬子が建立した法興寺の跡地には「安居院」（あんごいん）という小さな寺が残っている。これが飛鳥寺である。

飛鳥寺には本尊の釈迦如来像（飛鳥大仏）が収められている。釈迦如来像は落雷などによる火災のため損傷が著しく、頭部や手指以外は後世のものと言われているが、現存する大部分は造立当初のものという説もある。日本最古の仏像である。

10数名の見学者とともに釈迦如来像の前に座った私の前に、出てこられたご住職と思しき僧侶は開口一番こうおっしゃった。

「どうです。うちの仏さんは男前でしょう。」・・・なるほど、男前と言えば男前の顔立ちである。しかし火災にあった釈迦如来像は明らかに補鑄の跡が残っており、まるでフランケンシュタインのような感じもする。顔立ちについていえば、いわゆる北魏から伝わった古式のものであり、後世の仏像とは全く趣が異なる。頬のこけたガンダーラ様式が残る感じもする。さらに所見を言わせてもらえば、バランス的に見て頭部が少し大きいようにも感じる。やはり後からの補修によるものであろうか。

補修部分が多かったため、国宝にはならなかったと聞いているが、しかしこの仏像は国宝以上に当時の激動する東アジアの歴史の事実を伝える、貴重な証人でもあるのである。

### ・仏教伝来と高句麗

高句麗は紀元前から続く、中国東北部にあった古い国である。常に中国に接し、中国や中国に侵入する北方民族とも戦ってきたが、581年に隋が南朝の陳を平定して中国を統一すると、東アジアの国際情勢は一変した。高句麗は、はじめ隋に朝貢し、冊封を受けたが、やがて隋との間に抗争が起こり、598年には最初の隋の文帝による高句麗遠征が行われた。この遠征は遼河の氾濫により、隋側が大きな被害を受けたため一旦終息したが、さらに612年、613年、614年とこんどは煬帝による遠征が行われたのである。隋の煬帝の遠征は100万ともいわれる大軍であったが、結局決着せず、両者は大きな被害をうけて和睦に至ったのである。隋軍の士気が低かったともいわれるが、この戦争はいかに大国とはいえ士気の高い国を制圧することは至難の業であることを示しており、今日のウクライナとロシアの戦争を彷彿とさせるものである。そしてこの6世紀末から7世紀初めはまさに倭国の蘇我氏の隆盛の時期に合致しているのである。日本書紀には推古天皇26年の時、高句麗が倭国に方物や隋の捕虜2名とラクダ1頭を送り、「隋の煬帝は30万の兵を送り我が国を攻めたが、かえってわが軍のために破られた。」と述べたとある。

### ・蘇我氏の盛衰とともに

蘇我氏は仁徳大王（オオキミ）\*以来、高句麗につながる氏族である。（拙著「満の国からの渡来人」を参照\*\*）蘇我馬子が法興寺を建立し、丈六（約4.8m）の釈迦如来像を作ると聞いた高句麗の大興王は、隋の侵攻をうけ国家が存亡の危機にある状態にもかかわらず、黄金『三百両』を倭国に貢上した。そしてこの黄金をつかって飛鳥大仏は造立され、606年には完成したと言われている。仏師は司馬鞍作止利である。（司馬姓は仁徳大王が好んで使った官姓であり、おそらく高句麗からきた仏師と思われる。鞍作とは蘇我入鹿が実際に呼ばれていた名前でもある。）翌607年には有名な「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや。」の国書が遣隋使により隋の煬帝に届けられた。蘇我馬子と聖徳太子の時代である。

\* 紀元後720年以前は天皇ではなく大王（オオキミ）と呼んでいた。

隋の煬帝はこの国書を見て怒ったようである。何しろ大国の隋を「日没する処」と言ったり、しかも天子はただ一人、煬帝以外にはいないのに、日本の王も天子と称しているからである。幸い「蛮夷の書、無礼なる者あり、複たもって聞する勿かれ」と言っただけで済んだようであるが。勿論、この書は高句麗人である仏法僧恵慈（えじ）が書いたものであろう。高句麗としては隋と戦火を交えているのに引き下がってはいられないということだと思ふ。

度重なる戦争により著しく体力を損耗した隋と高句麗は、隋が618年、高句麗は668年に滅亡する。倭国の蘇我氏もまた百済系氏族のクーデターにより、645年に滅亡する。（乙巳（いっし）の変）わずか100年足らずの間の歴史である。

私がこの飛鳥大仏を歴史の貴重な証人というのは、東アジアの激動の時代、大国隋と高句麗と、倭国の蘇我氏とがいかに戦い生きたのか、そして共に滅亡したのかを見ていた仏像だからである。

飛鳥には高句麗のみならず様々な遺跡が残されている。それらの遺跡は頭だけ出している巨大な氷山のようなものである。そしてほとんどが謎のままか、あるいは正しく評価されていないように見える。しかし、そのことがかえって飛鳥の魅力につながり、古代史ファンを捉えて離さないのかもしれない。

\*\* 三津 正人：『満の国からの渡来人』～死闘を繰り広げた渡来人～ 東京図書出版（2022年6月）



釈迦如来像（飛鳥大仏）



飛鳥寺「安居院（あんごいん）」



井上 和男（1971（S46） 工合成）

昨年は天台宗開祖、伝教大師最澄生誕 1200 年だったそうだ。これを記念して京都国立博物館では「伝教大師 1200 年大遠忌記念特別展 最澄と天台宗のすべて」が開催された。我々が歴史探偵団名誉会長かつ実行委員長の前田直臣（S43 理）さんはこの初秋の爽やかな秋晴れの日に比叡山延暦寺を第 25 回歴史ウォーク先として計画してくれたのだ。

比叡山は私の高校時代（甲府）の修学旅行先でもあった。近くにありながら行く機会の少ないところ、57 年ぶりの訪問に心なしか青春時代の思いが湧いてきた。

さて、ウォーキングの日、10 月 22 日（土）午前 10 時 15 分、集合場所の JR 京都駅に集まったのは、前田直臣（S43 理高）、手島肇（S42 工衛生）、乗田昌司（S42 工衛生）、井上和男（S46 工合成）、植松高志（S48 法）の 5 名。皆さんの話を聞くとどうも今回は一斉メールに不具合があり連絡の届かなかったメンバーが多く参加者が少なかったようだ。

京都駅前 10 時 30 分発の比叡山山頂行き京阪バスに乗り、ドライブウェイを走ること 1 時間 15 分、11 時 45 分、標高 848 m の比叡山の延暦寺バスセンターに到着。すぐ目の前は根本中堂の入口だ。眼下には雄大な琵琶湖のパノラマが広がる。

トイレ休憩をして時計を見たら、すでに正午を廻っていたのでまずは腹ごしらえと言うことで、弁当持参の前田、植松氏は休憩所で残りの 3 人は休憩所下の“鶴喜そば”で昼食。ここは比叡山山麓の坂本に本店のある有名な蕎麦屋の支店だそうだ。

### 比叡山延暦寺

比叡山は大きく三塔（東塔、西塔、横川）の地域に分けられるが山頂のかなりの広い地域に分散しているので、今回はその中心である東塔エリアの根本中堂（国宝）をメインに散策した。

諸堂巡拝券を買って境内に入ると道の両側是最澄が遣唐使の一員として困難を乗り越えて中国、天台山に修業に行く様子や比叡山で悟りを開く様子などが絵に描かれていて分かりやすい。

階段を上ると大阪駅の様な巨大な鉄骨の屋根に覆われた根本中堂が現れた。根本中堂は比叡山延暦寺の総本堂である。中に入るとまさに改築工事の真っ最中。工事現場 2F より屋根の構造が手に取

るように見えた。お堂の中は厳肅な雰囲気で参拝客が仏様に向かって祈っていた。

お堂には宋祖伝教大師（最澄）が延暦 7 年（788）に一乗止観院として創建し、自ら刻んだといわれている秘仏本尊薬師如来がまつられている。また薬師如来の前には開創以来 1200 年間消えることなく「不滅の法灯」が輝いている。この須彌壇のある内陣が参拝者がお参りされる中陣・外陣よりひくい位置にあり、天台様式仏道や法灯が参拝者の目の高さに合わせてあるのは、“仏も人もひとつ”という仏教の「仏凡一如」の考えを表したものである。

同時期私費で中国に留学し密教の奥義を取得した空海に最澄が教えを請うたこと、また多くの高僧がこの比叡山で修業したことから比叡山は「日本仏教の母山」「仏教の総合大学」ともいわれる。

法念や親鸞、日蓮、道元など鎌倉時代の日本の宗教改革ともいわれる多くの開祖が出たことはまあ当時でいえば宗教界の東大みたいなもんやったんだね。その後、比叡山延暦寺は寺社勢力として財力、武力、権力を強めていったが、戦国末期には織田信長と対立し、焼き討ちにあった。比叡山では現在でも修行の一つとして「千日回峰行」が行われている。

前田さんからは「比叡山と天台のこころ」という 20 頁もの準備資料を頂いたが、宗教オンチの私にはちょっと難しくて良くわからないので内容についてはこれくらいにして我々は境内の東塔、阿弥陀堂、文殊楼等を散策。悠久の時間が流れる天空の聖地をゆっくり参拝させていただいた。

一通り見学を終えると、すでに 3 時を過ぎていたので他の 2 カ所も訪れたかったが断腸の思いでまたバスに乗って山を降り 4 時過ぎ京都駅で散会した。

### 歴史ウォークの歴史

その昔 2008 年頃のことやと思うが、“どさん歩会”という野外活動があり、姫路の松本直彦さん（S40 獣医）の農場でのイモ掘りやイチゴ摘み、福知山の塩見利紀さん（S40 水産）の農場での栗拾いなどがあった。その後 2010 年頃から始まった歴史ウォークも今では 25 回目にもなり、同窓会活動の一環としてすっかり定着している。

これまでには、関西地方の古墳から神社・仏閣、古道、城郭、博物館あるいは工場見学まで様々な

ところを訪れている。

このウォークを企画、実行している前田さんにはいつも頭の下がる思いだ。前田さんは今回も下見として、京都側から京阪電車、叡山鉄道、ケーブルカー、ロープウェイを利用して延暦寺を訪問したが、乗り継ぎに時間がかかり料金も高かったことから本番のウォークは往復バスにしたとのことだ。最澄の“一隅を照らす”の精神をもっとも具現しているのが前田さんかもしれない。

ところで少し話は変わるが、2009 年 NHK 大河ドラマ「天璋院篤姫」が放映された時、故河野迪夫さん（S41 理高）から“遠友サロン読書会”のメンバーがカーフェリーで鹿児島旅行をするので協力してくれないかと頼まれたことがあった。

旅行大好き人間の私は即座に快諾し、車 2 台、7 名で 5 泊 7 日（フェリー 2 泊）、鹿児島市内、篤姫ゆかりの地、知覧、指宿などなどを観光、鹿児島大学の同窓生との交流会などもあり極めて楽しい思い出の深い旅となった。

当時同窓生では最年少の私は、どんな先輩と一緒に旅するのだろうとちょっと心配したが、実に

のびのび、自由奔放、天真爛漫な先輩たちには驚いた。

味をしめて翌年は、NHK 大河ドラマ「龍馬伝」と「坂の上の雲」で沸く四国、高知、松山への 2 泊の車の旅、翌々年の「江～姫たちの戦国」では琵琶湖を周遊し故城、古戦場見学、それから「平家物語」では広島鞆ノ浦、下関壇ノ浦へ、「軍師官兵衛」では兵庫、岡山の官兵衛ゆかりの城めぐり、「真田丸」では幸村ゆかりの和歌山九度山、高野山へと同窓生有志で年一回、車または電車で 1～2 泊の旅を楽しんだ。そんな旅も今は諸事情やコロナで一時的に中断している。

この歴史ウォークは 25 回も続いている。まさに“継続は力なりだ”。これらの旅で私は大いに人生に彩りを増すことができた。これからも歴史的好奇心を満たす素敵な旅を期待する。

ちなみに当日 10 月 22 日は前田さん、78 歳の誕生日だとのこと。前田さん、誕生日おめでとう。そしてありがとう。これからも元気でこの企画、継続してください。

願わくばもう少し人数も多く、若い人達が参加してくれるといいな。

## Photo Gallery



比叡山ドライブウェイから琵琶湖方面を望む



延暦寺バスターミナルにて  
(左から井上（筆者）・植松・手島・乗田・前田）



“鶴喜そば”にて昼食





根本中堂境内



根本中堂に向かう道の両側に最澄の足跡がわかる絵が掲示されている



改装中の根本中堂が見えてきた



改装中の根本中堂 2F から工事の様子がわかる



工事の様子を観たところで記念撮影  
右から 植松・前田・手島・栗田・井上

## 「私の味づくり商品開発～味付けの流儀」によせて

山田 勝重（1978（S53） 農化）



新年 20 日 夕刻より、北大会館に於いて初めて三金会のお話をさせて頂きました。

テーマは「私の味づくり商品開発～味付けの流儀」と思い切ったテーマと致しましたが、味の違いを観て解り易く表現する事の難しさに気付いた時は後の祭りでした。

私は食品会社の開発としては珍しく、専門領域の枠に縛られること無く、市場性重視で新しい分野や新事業開発を手掛けさせて頂きました。特に市場参入する新商品では、後発者として顧客創出するための「味づくり」は価格以上に重要な位置付けになります。ですから製品の新しい美味しさによって、味の差異性と優位性を追求して、新しいテイストにたどり着くことを重視して来しました。

だから「味づくり」に拘ってきたのだ…と思い立ちテーマを決める事にしました。さて本題に入りますが、食品の美味しさとは、味そのものよりも見栄え、香りに大きく支配されるため、純粋に味のみで評価をする事は難しいと思います。そこで見栄えや香りは同じとする前提で味の組立についてお話したのが、当日の話です。味の組立ては「甘味」「塩味」「酸味」「苦味」「旨味」の 5 原味の組み合わせで創られる事は一般的に良く知られていますので、当日も 5 原味を中心にお話をしました。

しかしながら実際の料理では、スパイス・ハーブ等の香りとそれらの刺激による「刺激味」という要素や、油の特性がつくり出す風味の変化は大きいと言えます。香りや刺激味が油に溶ける成分だという事もあり、「味づくり」に複雑さが加わり面白いのです。だから「味づくり」への興味は尽

きないのかも知れません。私は、基本の味が「甘味」であり、「甘味」に「酸味」「苦味」が加わることで、素材や食品の個性が際立ち、まとめ役に「旨味」「塩味」を置くのが良いと、考えて来ました。しかし美味しさを追求する場合は、必要以上に「旨味」「塩味」を乗せ過ぎない事がポイントだと思います。逆に言えば「旨味」「塩味」を加えて行くと、味が濃くてもバランスが取れてしまい、どんどん濃い味に傾いて行きます。これは決して良い事とは言えないと考えています。過剰な塩や出汁は味覚を麻痺させてしまい、素材の良さと味わう事を忘れさせてしまいます。料理のプロから「塩梅」とか「決めの塩」等と聞くことがありますが、「塩味」とはプロでもなかなか決めるのが難しいようです。

私達も開発過程では、塩と出汁の量とバランスは、何回も試作を重ね、食す量を変えながら、強弱を試しながら決めて行きます。食べ終わった時に、薄いと味がボケ、濃いと飽きに繋がりが得るからです。また味が濃くなるにつれ、香り立ちも抑えられる為に、風味が落ち、素材の個性を殺す事があります。美味しさを感じる事ができる「味づくり」は、その素材の持つ個性を引き出しつつ、新しいテイストを創出する事です。より多くの人が潜在的に持ち合わせる「美味しさ感」を誘引できる製品は良く売れるでしょう。そこに企画（言葉）として新しいイメージを付加する事を目指し、素材の味「甘味」「酸味」「苦味」を引き立てるための「塩味」「旨味」を如何に使うか…、それが開発の妙味だと思います。



講演後「沢山の質疑・討論」がなされた

きないのかも知れません。

会場でお話した味の組立については、その考え方を絵にしようとした結果、陳腐な絵になって仕舞いました。そんな印象を持ちながら説明しました。（失礼しました）

以上、今回の説明でお伝えし切れなかった事を含め、やや苦味を残すレポートをさせて頂きました。皆さま、ありがとうございました。 以上

以上、今回の説明でお伝えし切れなかった事を含め、やや苦味を残すレポートをさせて頂きました。皆さま、ありがとうございました。 以上

以上、今回の説明でお伝えし切れなかった事を含め、やや苦味を残すレポートをさせて頂きました。皆さま、ありがとうございました。 以上

以上、今回の説明でお伝えし切れなかった事を含め、やや苦味を残すレポートをさせて頂きました。皆さま、ありがとうございました。 以上

以上、今回の説明でお伝えし切れなかった事を含め、やや苦味を残すレポートをさせて頂きました。皆さま、ありがとうございました。 以上

以上、今回の説明でお伝えし切れなかった事を含め、やや苦味を残すレポートをさせて頂きました。皆さま、ありがとうございました。 以上

以上、今回の説明でお伝えし切れなかった事を含め、やや苦味を残すレポートをさせて頂きました。皆さま、ありがとうございました。 以上



山田勝重講師を囲みお礼の乾杯



## 二水会・三金会の講演一覧（2022年9月～2023年2月）

二水会・三金会連絡担当 藤田 久美（1977（S52） 文哲）

北大会館で毎月開催される二水会（第二水曜日）と三金会（第三金曜日）では、識者に特別講演を頂きその後歓談して同窓生相互の親睦を深め交流しています。コロナへの対応でZoomでの開催も併用し順調に開催できておりますが、食事は個別の弁当、マスク着用などまだまだ用心が必要です。

### 二水会

- 2022/ 9 /14 菊池 康基（S33 理）  
ワクチンのフェイクニュースを切る
- 2022/10/12 玉城 一枝（奈良芸術短期大学  
非常勤講師）  
斑鳩・藤ノ木古墳のミステリー
- 2022/11/ 9 大田黒 康雄（S53 農）  
私と中国の銘酒紹興酒との関わりについて
- 2022/12/14 三津 正人（S45 農）  
みんなで学ぶ「古代史教室」
- 1 月 開催なし
- 2023/ 2 / 8 前田 直臣（S43 理）  
＜韓国事情報告シリーズ 2＞  
日本とこんなにも違う朝鮮の風習と  
基層文化 その歴史的背景

### 三金会

- 2022/ 9 /16 大村 泰治（S51 水）  
個人的な新型コロナワクチンに対する考え方
- 10 月 総会と近接のため開催なし
- 2022/11/18 末吉 徹（S44 京大元大阪府庁）  
お茶に関する基礎知識
- 2022/12/23 下岡 健藏（S45 工）  
＜韓国事情報告シリーズ 1＞  
変わらぬ隣国民気質  
～梨泰院圧死事件で感じたこと～
- 2023/ 1 /20 山田 勝重（S53 農）  
私の味創り商品開発～味付けの流儀
- 2023/ 2 /17 金森 大悟（同志社大学神学部H9卒）  
プーチンを祝福するロシア正教会キ  
リル総主教と政治世界



## お知らせ

## 札幌農学同窓会関西支部 新理事紹介 自己紹介

はちだ まさよし 八田 方良（1977（S52） 農農学）



昭和 52（1977）年に農学科を卒業した八田方良です。私は昭和 30 年 1 月に「ダイエー発祥の地」大阪の千林商店街の近くで生まれました。小学校 3 年生の時に父の転勤で西宮に。東京オリンピックの時に半年だけ名古屋の小

学校に転校した。中学は 1 学年が 12,13 クラスで、生徒が 1,000 名を超えるマンモス中学。吹奏楽部に入ったが、すぐに退部。うろうろしていたところ、中庭の手入れや菊・野菜を育てている先生に巡り合った。中 3 ではなぜか再び吹奏楽部に入りフルート・ピッコロを吹いていた。

川西の高校に進学。創立 2 年目の高校だったので、先輩は 1 学年上だけだった。在学中も校舎・体育館・プールが次々と出来上がり、グラウンドの草むしりや整備もしていた。「開拓者精神」が養われた。部活は吹奏楽部でクラリネット。生徒会活動もやった。

昭和 48 年に北の大地にあこがれて北大に入学。祖母は「近くに色々な大学もあるのに、北海道にしかいけなかったんや」と言ったとか。知り合いはいないと思っていたが、学部移行してみると、なんと小学校の同級生がいた。彼はのちに他大学農学部教授になり、新しいイネの品種などを育成した。私は果樹蔬菜の講座に籍を置いた。良き先生・先輩・後輩に恵まれ、飲み会もよくやった。大学内に泊ったこともあった。知らないことが一杯あった。当時、農場の堀近くに紫色の実を付けた小さな木が植わっていた。ちょっとつまんで食べるとおいしい！「これなに？」それはブルーベリーだった。その頃は現在のように栽培されていなかった。洋菓子作りが趣味の後輩が「絶対に日本中に広まりますよ」と言った・・・が、まさにその通りになった。部活では、青春の歌とか民謡を歌ったり踊ったりする 100 名くらいのサークル（様々な学部のメンバーとともに当時は他の大学・学園からも参加）に入り、部室やクラーク像前の芝生辺りで練習した。結構気合いを入れてクラーク会館で定期演奏会も行った。こちらも良き先輩・後輩に恵まれた。

卒業の年は、就職活動どうしよう！？とっているうちに、どんどん時間が過ぎ、親のつてを頼って医薬事業をやっていた化学会社に営業（MR；当時プロパーといった）で入社。営業数字は追及しなかったことだったが、会社はそれほど甘くなかった。営業は京都・福岡・神奈川・茨城そして 1 製品のみ担当の専属部隊として全国へ。社内は勿論のこと、病院・クリニックの医療関係者や医薬品卸さん、他社のみなさんには大変お世話になり、色々と助けていただいた。今でも結構付き合っている。38 歳から 10 年間は医薬品の情報を収集し分析評価を行う本社部門に所属。医薬品の市販後の有効性や安全性に関する調査や副作用への対応等をみんなと力を合わせて実施し、製薬協や大阪医薬品協会といった業界団体の部会にも参加させていただいた。医薬事業部は新会社となり、20 年後に他社と合併して、新会社となった。1 製品の専属部隊は製品を事業譲渡することになったため全員出向、2 年後に転籍。こうして私の会社人生は 4 社に所属することになった。移籍後、学術・医薬情報、日本初の細胞治療薬の営業、退職前の 4 年間は内部監査という面白い業務をしていた。

昨年 1 月に 67 歳で退職後、何かやりたいと思いつきながら日が過ぎた。近所の方から「畑の会」に参加しないかと声をかけていただいた。各自が好きな野菜類を植え、みんなで楽しく、協力して耕作し収穫物を得ることを目的にした 10 名くらいの会である。昨年 7 月から加わっているが、芋煮会や山野草を食べる会などもやっている。なんと一番の若手であり、ばりばりと活躍されている先輩方に、畑の耕し方や肥料の作り方、収穫の仕方など教をを請い、ご指導いただいている。



3 年生の時の果樹蔬菜園芸学講座の研究室交流会（左手前が筆者）



## 「北海道大学中部地区同窓会 設立総会」が開催される

関西同窓会会長 植松 高志（1973（S48） 法）

2023年2月18日（土）に「北海道大学中部地区同窓会 設立総会」が開催されました。その設立総会に関西同窓会の代表としてご招待を受けましたので、状況を皆さんにお伝えし、設立総会が成功裏に行われたことを共に慶びたいと存じます。

### 「校友会エルムについて」

「北海道大学校友会エルム」は従来の連合同窓会の更なる発展を期して2016年6月に誕生しました。発足にあたり、「校友会エルムは、在学生・在学生の保護者・教員・職員および卒業生など全ての北海道大学関係者が集い、学部および国内外地区同窓会等と連携して会員の成長・発展を図ると共に、北海道大学が世界水準の大学として社会に果たす使命を支援していくこと」を宣言しました。校友会エルムに登録されている同窓会は63で、その内訳は学部等同窓会18、国内地区等同窓会28、海外地区等同窓会17です。国内地区同窓会として東京同窓会や関西同窓会をはじめ各地に同窓会がありますが、中部地区には同窓会がなかったのです。このことは、大学及び同窓会の長い間の課題でした。この度、中部地区同窓会の設立により同窓会は64となりました。

### 「中部地区同窓会 設立総会が開催される」

日時：2023年2月18日（土） 15：30～18：00

会場：アイリス愛知 2階「コスモス」

名古屋市中区丸の内2丁目

次第：○中部地区同窓会会長挨拶

田口敦史（1993・法 愛知県庁）

○来賓挨拶

北海道大学理事・副学長 山口淳二

○講演会

北海道大学総長 寶金清博

「社会と歩む卓越～北海道大学

Excellence & Extension」

○同窓会の活動内容説明・同窓会役員紹介

中部地区同窓会副会長 阿部直樹

（2006・工院 トヨタ自動車（株））

○懇親会

\*挨拶

東京同窓会会長 横田 浩（1982・経）

\*乾杯

中部地区同窓会理事 片山朝美（2006・文）

\*閉会挨拶

関西同窓会会長 植松高志（1973・法）

設立総会には中部地区同窓生116名と来賓6名の計122名が出席し、大広間に25テーブルがぎっしりと配置され、熱気溢れる設立総会となりました。参加者名簿を見ますと、卒年次順になっていて、最年長は1953年（S28）土木工学科卒の大橋雄六氏、最年少は何と令和3（2021）年、工学院空間性能システム専攻修了の村上勘太さんと経済学部卒業の桑原悠花さんでした。内訳は昭和卒が42名、平成・令和卒が74名、なんと64%が平成・令和卒です。また、田口会長をはじめとする役員は14名ですが、昭和卒は3名だけで平成卒役員は約8割です。因みに関西同窓会の役員は相談役・顧問・評議員も含めて91名ですが平成卒は16名の18%です。同窓会活動の中核をなす会長・副会長・理事・監査役計69名のうち、平成卒はここ4年で増えたものの16名、23%です。中部地区同窓会の約8割は羨ましい限りです。同じテーブルの山口副学長からも「各地区同窓会の課題は若返りですね」とアドバイスいただきました。

田口会長の挨拶、阿部副会長の同窓会活動の説明からは新生中部地区同窓会に懸ける思いが熱い情熱を帯びて伝わってきました。お二人には、本号に「就任の言葉」として寄稿いただきましたのでご覧いただきたいと思います。

山口副学長は「中部地区に念願の同窓会が設立されたことは、大学と同窓会の絆がより深まり、双方の発展が約束された」と慶びを語りました。

寶金総長の講演からは、2026年の創基150年に向けて「北海道大学近未来戦略150」が着実に実行されていることがわかりました。同窓生は「比類なき大学」が現実になることに喜びと誇りを持ったのではないかと思います。

懇親会開会の挨拶では横田浩氏は「同窓会活動の根底には“北大愛”が流れています。さらに北

大愛を深めましょう」と参加者の皆さんに呼びかけました。続いて、乾杯の音頭は女性理事の片山朝美さんでした。「楽しく愛される同窓会にしましょう」と高らかに杯を掲げました。

私は、宴会の「締め」をすることになりました。関西同窓会は昨年創立60周年を向かえたので、創立に至った経緯とエポックメイキングの一つである北大会館の取得・開館について話をさせていただきました。役員の方々に参考になればと関西同窓会会報第87号を5冊お渡しし、特に「北海道大学関西同窓会創立60周年特集」をお読みいただきたいと申し添えました。最後に、私は応援団にいましたので「フー！フー！北大！！」の大エールを送りました。唱和する参加者の一体感ある熱い声がホールに響き渡りお開きとなりました。

全体を通して次の3つのことを感じました。

①中部地区同窓会設立には、名古屋出身の稲富美仁氏（2000・文）が獅子奮迅の活躍をされたことがあったからこそと思いました。稲富さんは同窓会事務局も引き受けます。また、和服姿で司会を務められた早川典子さん（2000・法）は法学部の後輩ということで話をしましたが、「INAXで同期だった稲富さんの熱意に込めて、今日の司会と同



設立総会に同窓生116名 来賓6名が参加

窓会事務局も引き受けました」と語っていました。②中部地区には企業単位や学部別の同窓会があったことを初めて知りました。愛知県庁（県庁白檜会）、トヨタ自動車（北斗会）、デンソー（オホソク会）、中部電力（エルムの会）、鉄道関係（東海白檜会）、衛生工学科（名檜会）、水産学部（北水同窓会愛知県支部）、薬学部東海同窓会、獣医学部東海支部会、歯学部同窓会愛知県支部等です。これらの同窓会に声をかけて120名もの同窓生が集まったことを知りました。

③設立総会を盛り上げたのは恵迪寮歌「都ぞ弥生」でした。懇親会の途中で、恵迪寮OBの船津 渉氏（1999・工（株）デンソー）が「都ぞ弥生」の音頭をとり、コロナ禍の中、肩は組みませんでしたが「これぞ北大」という一体感が生まれました。私も恵迪寮OBで恵迪寮同窓会理事でもありますのでマスクをしてではありますが思わず大きな声を張り上げてしまいました。

今年、恵迪寮は築40年を迎え寮舎の改修が待ったなしの状況にあります。この機会に寶金総長、山口副学長に北大精神と文化の継承者を自負する恵迪寮の改修がスムーズに進むことをお願いした次第です。



寶金総長の講演

## 中部地区同窓会 会長就任の言葉

中部地区同窓会 会長 田口 敦史（1993（H5） 法）



中部地区同窓会の会長を務めさせていただきます田口敦史と申します。

北海道大学校友会エルムを組織する64ある基礎同窓会には、ここ中部地区（愛知・岐阜・三重・静岡・長野・

山梨・石川・富山の8県）を構成会員とする同窓会がなく、国内で空白地帯となっておりました。しかし、名古屋市を始め大都市圏があり、自動車関連産業など「ものづくり」が盛んで日本を代表する企業も多く、同窓会を設立するポテンシャルは十分にあるということで、昨年の夏頃から有志が集まり準備を進め、令和5年2月18日、中部地区同窓会の設立総会開催の運びとなりました。

会の目的は「母校である北海道大学と会員を結



ぶ組織として母校の発展に協力するとともに、会員相互の交流、親睦を深めること」であります。新型コロナウイルス感染症対策により人が集まってワイワイやるということが難しい時期でありましたが、会の役員を務める有志で話し合い、「こんな時代だからこそ必要な、人との出会いや繋がりを、同窓会の新しい形態を模索しながら、あらためて探求していこう」「北大のフロンティア精神で、この閉塞的な社会を打ち破り、ピンチをチャンスに変えていこう」と熱い想いで準備してきました。

中部地区同窓会 副会長就任の言葉

中部地区同窓会 副会長 阿部 直樹（2006（H18） 工）



中部地区同窓会の副会長を務めさせていただきます阿部直樹と申します。  
関西地区同窓会の定期会報におきまして、このようなご挨拶の場を頂きましたことを関係者の皆様にお礼申し上げます。田口会長と

共に、会の発展に貢献できるよう尽力して参ります。  
先日、おかげさまをもちまして中部地区同窓会を設立することができました。「なぜ今、中部地区に新たな同窓会を設立する必要があるのか？」副会長を拝命するに辺り、そんな疑問を自問自答するところから始まりました。リアルな人と人との繋がりを形成し難い昨今、効率化や多様性を優先する中で、失われていったものは無かつたらうか…



宴会の「締め」にエールで盛会を講じた筆者

私は中部地方出身ですが、大学時代に過ごした北海道が大好きで第二の故郷だと思っております。楽しかった学生生活は、友人や学校で学んだことを含め全て、今の自分の血や肉となっており人生の大きな糧です。そんな想いを共有できる同窓生と縁あって出会えた中部地区で、いつ参加しても楽しく、そしてずっと愛される同窓会を続けていきたいらと切に願っております。  
歴史と伝統のある関西同窓会の皆様にはぜひともご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

そんな中、“同世代と繋がりたい”、“自己研鑽を積みたい”という若者からの声を耳にしました。中部地区同窓会が何かしら力になれるかもしれないと思い、熱を帯びたのを覚えております。同窓会の見方を変えると、これほど簡単に異業種と交流ができる場はないのではないのでしょうか。同窓生が互いに刺激し合うことで、中部地区、北海道大学の発展に繋がる可能性があると感じています。本年の中部地区同窓会では、「交流会・勉強会・講演会」を軸にイベントを検討しております。何事もまずやってみるの精神で、自ら楽しんで会の運営に携わりたいと思っております。  
最後になりますが、設立総会に至るまで、同窓生のために共に汗を流して頂いた中部地区同窓会の役員の皆様にも感謝申し上げたいと思います。  
熱い思いを抱いた北大の同志、皆が主役、皆で作りに上げる同窓会、皆に愛される同窓会にしていきます！

(以上)



設立総会のお祝いに参列した植松(S48 法)、阿部副会長(H18 工院) 山口副学長、鈴木 (S46 工)、三浦 (S46 農) の各氏 (右から)

本学関連トピックス

令和 4 年度オープンキャンパスを 3 年ぶりに対面形式で開催

8 月 6 日 (土) から 8 日 (月) までの 3 日間、札幌・函館の両キャンパスにおいて、3 年ぶりに対面形式でオープンキャンパスを開催しました。  
今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対象者を原則として小中高生に限定したうえですべて事前予約制とし、定員を例年の約半数程度としましたが、期間中は、大勢の参加者でキャンパスが賑わいました。



参加者で賑わう構内

7 日 (日) には「自由申込プログラム」を、6 日 (土) 及び 8 日 (月) には「高校生限定プログラム」を主に実施し、多くの高校生等が、学部等が企画した説明会、模擬講義・ゼミ、実習・実験、見学会、保護者等も参加可能な大学概要説明の講演や個別相談会など、多彩なプログラムに参加しました。  
参加者にとっては、本学の学びを味わう貴重な機会となりました。

(アドミッションセンター)



本学の学生主催による「高校生限定プログラム」の様子

令和4年度オープンキャンパス 参加者数 (注 1)

| 学部等名                                | 自由申込<br>プログラム | 高校生限定<br>プログラム | 部局等<br>別合計 |
|-------------------------------------|---------------|----------------|------------|
| 文学部                                 | 364           | 42             | 406        |
| 教育学部                                | 135           | 145            | 280        |
| 法学部                                 | 267           | 66             | 333        |
| 経済学部                                | 176           | 132            | 308        |
| 理学部                                 | 936           | 154            | 1,090      |
| 医学部医学科                              | 88            | 91             | 179        |
| 医学部保険学科                             | 184           | 199            | 383        |
| 歯学部                                 | 196           | 28             | 224        |
| 薬学部                                 | 258           | 278            | 536        |
| 工学部                                 | 519           | 226            | 745        |
| 農学部                                 | 190           | 145            | 335        |
| 獣医学部                                | 185           | 41             | 226        |
| 水産学部                                | 434           | 104            | 538        |
| 大学院環境科学院                            | 152           | —              | 152        |
| 附属図書館(本館・北図書館)                      | —             | —              | —          |
| 国際交流課                               | 33            | —              | 33         |
| サステイナビリティ推進機構                       | 31            | 46             | 77         |
| 大学院教育推進機構 CoSTEP(旧 高等教育推進機構 CoSTEP) | 15            | —              | 15         |
| 各種個別相談会(注 2)、講演・説明会(注 3)            | 266           | —              | 266        |
| 大学文書館                               | 113           | —              | 113        |
| 北大キャンパスビジットプロジェクト                   | 231           | 28             | 259        |
| 総合計                                 | 4,773         | 1,725          | 6,498      |



(注1) 学部等が実施するプログラムは、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、対象者を原則として小中高生に限定したうえですべて事前予約制とし、定員を例年の約半数程度とした。

(注2) 各種個別相談会の内訳  
初年次教育・学部移行個別相談（教育推進課）、新渡戸カレッジ個別相談（新渡戸カレッジ）、学生生活個別相談〔学生寮・奨学金等〕（学生支援課）、学生相談総合センターアクセシビリティ支援室個

別相談、キャリアセンター就職個別相談（キャリア支援課）、入試個別相談（アドミッションセンター）

(注3) 講演・説明会の内容  
「北海道大学で学ぶということ」（アドミッションセンター）、「新渡戸カレッジへのいざない目指せ！北大発グローバルリーダー」（新渡戸カレッジ）、「スカラシップアドバイザーによる日本学生支援機構奨学金説明会」（学生支援課）

北大時報 No.822 / 令和 4 年（2022 年）9 月

## 「北海道大学ホームカミングデー 2022」を開催

9 月 22 日（木）から 25 日（日）の 4 日間、「北海道大学ホームカミングデー 2022」を開催しました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、オンラインによるライブストリーミング配信を主体にオンデマンド配信も組み合わせた内容にて執り行われましたが、11 回目の開催となる今年のホームカミングデーは、昨年度のアンケート回答で、コロナ禍が落ち着いた場合でもオンライン方式での開催を望む意見が複数あったことから、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、初の試みとなる集客開催とオンラインによる動画配信も行うハイブリッド方式で開催しました。

全学行事のほか、各部局・同窓会が主催する様々な行事が行われ、全体で延べ 1,527 人が参加されました。久しぶりの対面開催ということもあり、参加者は各々楽しいひとときを過ごされたと思われます。

なお、次回、第 12 回のホームカミングデーについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等にもよりますが、引き続きハイブリット方式での開催を予定しています。

来年度の開催日については、開催日が決定次第お知らせしますので、引き続き北海道大学ホームカミングデーをよろしく願います。

（社会共創部広報課卒業生・基金室）

社会共創部広報課卒業生・基金室

### 歓迎式典・記念講演会

9 月 24 日（土）10:00 ～ 11:55 学術交流会館講堂 集客 101 名、ライブ配信視聴者 170 名

ホームカミングデーの全学行事として「歓迎式典・記念講演会」を集客開催とオンラインのハイブリッド形式で行いました。

会場となった学術交流会館講堂では、寶金清博総長をはじめ、出演者が参加するなか、北海道大学交響楽団の弦楽四重奏によるアレクサンドル・ボロディン作曲「弦楽四重奏曲第 2 番ニ長調より第一楽章」の演奏で式典の幕を開けました。

司会は本学経済学部の卒業生である HBC 北海道放送の船越ゆかり氏が務め、初めに寶金総長から、本学の第 4 期中期目標期間における 6 つのビジョンの一つとして掲げている「繋がる・広がる、連携の北大」について報告があり、2026 年に迎える創基 150 周年に向けて、ホームカミングデーは特別な意味を持つものであるとの説明がありました。

次に、杉江和男校友会エルク会長から、「望まれる「誰もがリーダーシップを持つ」人材育成を」と題し、組織の経営で重要な「変化」「価値」「リーダーシップ」「ガバナンス」についてお話を頂戴しました。

本年 8 月に北海道大学栄誉賞を受賞されたご来賓の數土文夫氏からは、経済界から見た大学教育の課題等についてお話を頂戴しました。

また、本学の理事、監事及びホームカミングデー担当の副学長の紹介も行われました。

続いて、本年 4 月に北海道大学ディスティンディングイシュートプロフェッサーの称号を授与された人獣共通感染症国際共同研究所の鈴木定彦所長による記念講演会では、「結核－新型コロナウイルス感染症の影に隠れた人類の脅威－」と題し、世界並びに我が国の結核感染状況、結核制圧に向けた取り組み等について説明されました。

その後、「学生による活動報告」と題し、新渡戸カレッジ生の 2 名から活動報告が行われ、北海道大学第 111 代応援団による歓迎のステージとして、校歌「永遠の幸」と応援歌「環瑠みがく」の 2 曲が披露されました。

フィナーレは、「都ぞ弥生」の弦楽四重奏に乗せての特別動画で締め括りました。本動画は大学文書館所蔵の懐かしい写真と郷愁を誘うメロディー

から始まり、途中から曲調がアップテンポになると、札幌キャンパスの四季折々の風景が映し出されるもので、会場にお越しいただいた参加者並び



本学のビジョンについて報告する寶金総長



挨拶を述べる數土文夫氏

にオンラインでの視聴者の皆様には、本学の姿を感じて頂けたことと思います。



歓迎の挨拶を述べる杉江会長



応援団による歓迎のステージ

北大時報 No.823 / 令和 4 年（2022 年）10 月

## 令和 4 年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」に採択～「ワクチン研究開発拠点」の開始～

本学は、令和 4 年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」において、東京大学（フラッグシップ拠点）、大阪大学・千葉大学・長崎大学（シナジー拠点）とともに、シナジー拠点として採択されたことに伴い、10 月 1 日（土）、創成研究機構にワクチン研究開発拠点（以下「本拠点」）を設置しました。

本拠点では、国産ワクチンの開発に向けて「ワクチンの開発・生産に資する革新的研究開発の推進」「産学官・臨床現場との連携による実用化、人材育成に向けた体制構築」「国内外の最先端の研究開発動向に関する情報収集・分析」のミッションの下、ヒトに感染症を引き起こす可能性のある病原体のライブラリーを予め整備し、ワクチン開発に資する基礎研究の推進を通じて得られた成果を導出し、社会に実装する「先回り戦略」を実施します。

本拠点は、AMED に設置された先進的研究開発戦略センター（SCARDA）のマネジメントに沿って、

拠点長である人獣共通感染症国際共同研究所副所長の澤 洋文教授を中心に、産業界及び臨床現場とダイレクトに連携した運営体制を構築するとともに、国内外の研究動向や研究進捗に応じて機動的に研究・体制を調整して成果を挙げることを目指します。

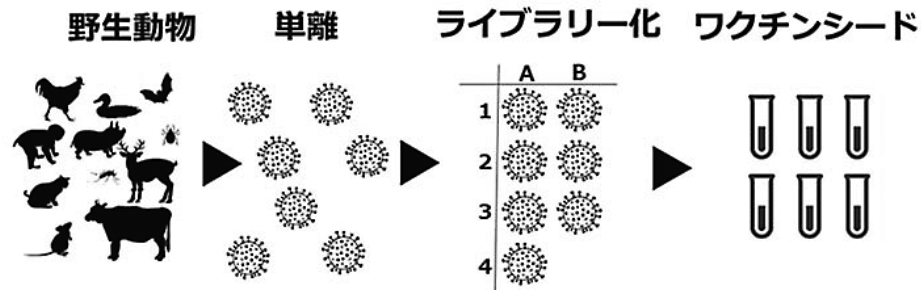
また、本拠点内にワクチン開発部門、生体応答解析部門、臨床開発部門を設置し、それぞれミッションをもって研究開発に取り組みます。

これらの活動により得られる成果を基盤として、臨床現場と基礎研究の密接な連携体制を構築するほか、診断～ワクチン開発～生体応答までを網羅的に対象とする技術を開発する基盤的知見の集積と実装を行うとともに、病原体に紐づくワクチンシードの情報を先回りで収集・活用できる基盤を整備します。さらに、トップレベル研究開発拠点群の若手研究者と外国籍研究者の連携による国際感染症対策ネットワークを基盤とする世界レベル感染症対策プラットフォームを構築します。

## ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点群 北海道シナジーキャンパス

(北海道大学 創成研究機構ワクチン研究開発拠点)

「先回り戦略」：網羅的インフルエンザウイルスライブラリーを構築済み



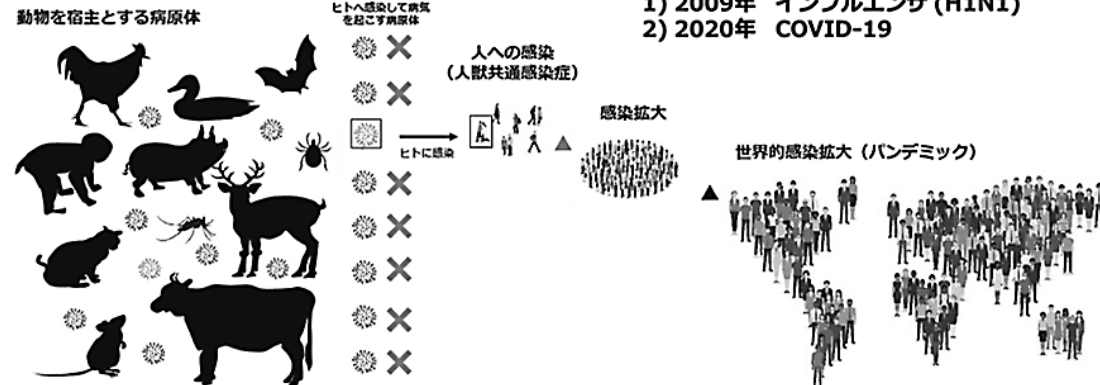
ライブラリーからワクチンシードを準備し、安全性・有効性までを動物実験で実証  
国産ワクチン開発・生産体制構築に貢献する基礎研究を推進

世界的な流行を起こした主な感染症と人獣共通感染症

- インフルエンザウイルス：カモが自然宿主
- SARSコロナウイルス：コウモリ、ハクビシンが関与する可能性
- MERSコロナウイルス：ラクダが自然宿主
- 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）：コウモリが関与する可能性

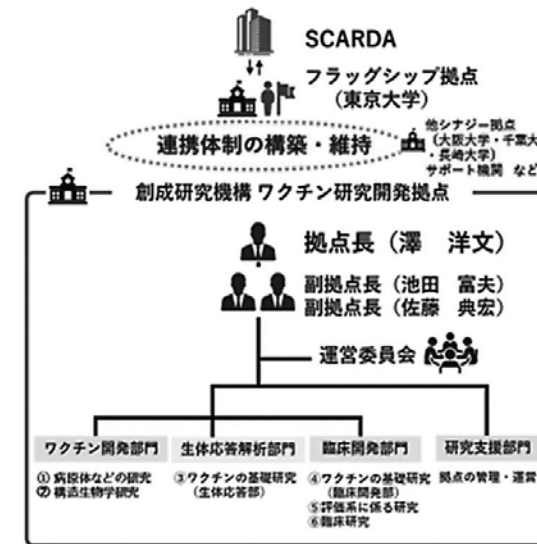
➡ 呼吸器感染症を引き起こす  
人獣共通感染症がパンデミックへ

WHOのパンデミック宣言  
1) 2009年 インフルエンザ (H1N1)  
2) 2020年 COVID-19



人獣共通感染症に対する「先回り戦略」で国産ワクチンの開発に貢献

## 平時の体制

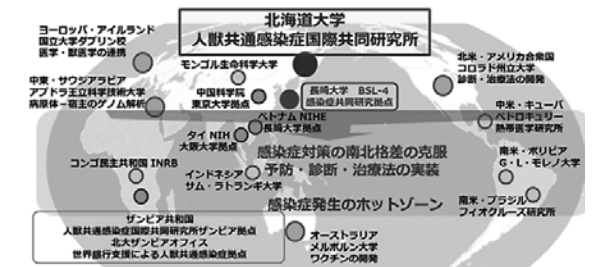


- SCARDAのもと、拠点長を中心とした運営
- フラッグシップ拠点や他拠点との密接な連携
- 産業界・臨床現場と密接に連携した運営体制
- 国内外の研究動向を収集する連携体制
- 機動的な研究・体制の調整

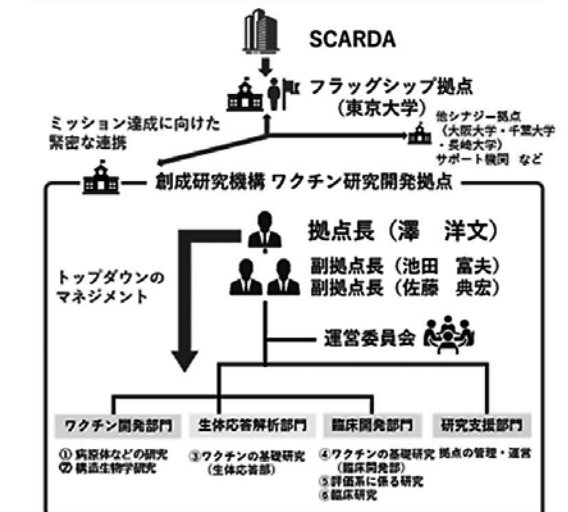
世界規模に広がる連携機関  
感染症発生情報・研究開発動向の収集

感染症対策で連携している国際機関

- 世界保健機関 (WHO)
- 世界獣疫事務局 (OIE)
- 国際食糧農業機関 (FAO)



## 有事の体制



ワクチン開発拠点概要図

(研究推進部研究支援課ワクチン研究開発拠点事務局)



## 水産学部附属練習船「うしお丸」Ⅱ世最終出港式を挙行

水産学部附属練習船「うしお丸」Ⅱ世の最終出港式を、10月7日（金）に函館市国際水産・海洋総合研究センター前の弁天地区埠頭にて行いました。

うしお丸Ⅱ世は平成4年9月の就航から30年間にわたり、主に噴火湾、津軽海峡、道東太平洋沖合、知床沖など北海道周辺の沿岸域での海洋観測（水温・塩分・海流・採水・プランクトンなど）に関する実習や、トロール実習他漁業実習、音響計測実習、海生哺乳類や鳥類の目視調査などの実習及び研究に従事してきました。

平成14年には船体延長・改造を行い、船内諸設備の拡充と調査観測機能の向上を図ってきましたが、老朽化のため新潟造船株式会社新潟工場にて建造が進むうしお丸Ⅲ世にその任を譲ることとなりました。



坂岡船長による挨拶

出港式では、都木靖彰水産学部長から、任務を全うするうしお丸Ⅱ世、そしてうしお丸Ⅱ世に関わった乗組員へ深い感謝を述べられ、花束が贈呈されました。

船を代表し、坂岡桂一郎うしお丸船長からの挨拶では、教員・学生・事務職員、何度も修繕にあたってくださった関係企業の方や、家族への感謝のほか、自身のうしお丸初出港時の思い出を述べられた後、「最後の航海も安全に出港します。行ってきます」と述べられました。

うしお丸Ⅱ世は、教職員、学生、OB、OG、地域の方など約70名が見送る中、新潟へ向け出港し、新たな船主に引き渡されました。

10月25日（火）、うしお丸Ⅲ世は乗組員を乗せ函館港に到着しました。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）



前列右から、都木水産学部長、坂岡船長、佐藤哲生函館キャンパス事務長と乗組員



見送りのため水溶性紙テープを準備する都木水産学部長



多くの方々に見送られ新潟へ出港

北大時報 No.824／令和4年（2022年）11月

## 北海道大学関西同窓会 行事予定 2023年4月～11月

|     | 4月         | 5月         | 6月            | 7月         |     |
|-----|------------|------------|---------------|------------|-----|
| 金曜日 |            | 5          | 2             |            | 金曜日 |
| 土曜日 | 1 (一社) 理事会 | 6 (一社) 理事会 | 3 (一社) 理事会    | 1 (一社) 理事会 | 土曜日 |
| 日曜日 | 2          | 7          | 4             | 2          | 日曜日 |
| 水曜日 | 5          | 10 二水会     | 7             | 5          | 水曜日 |
| 日曜日 | 9          | 14 ジンパ     | 11 第26回歴史ウォーク | 9          | 日曜日 |
| 水曜日 | 12 二水会     | 17         | 14 二水会        | 12 二水会     | 水曜日 |
| 金曜日 | 14         | 19 三金会     | 16 三金会        | 14         | 金曜日 |
| 土曜日 | 15         | 20         | 17 市民フォーラム    | 15         | 土曜日 |
| 月曜日 | 17         | 22         | 19 第三回役員会     | 17         | 月曜日 |
| 金曜日 | 21 三金会     | 26         | 23            | 21 三金会     | 金曜日 |
| 土曜日 | 22         | 27 会館祭り    | 24            | 22         | 土曜日 |
| 未定  | 食品産業エルム会   | 歴史ウォーク     | 食品産業エルム会      | 食品産業エルム会   | 未定  |
| 未定  |            | 食品産業エルム会   |               | 文楽鑑賞会      | 未定  |

|     | 8月             | 9月                     | 10月                         | 11月        |     |
|-----|----------------|------------------------|-----------------------------|------------|-----|
| 金曜日 | 4              | 1                      | 6                           | 3          | 金曜日 |
| 土曜日 | 5 (一社) 理事会     | 2 (一社) 理事会             | 7 (一社) 理事会                  | 4 (一社) 理事会 | 土曜日 |
| 日曜日 | 6 北大オープンキャンパス* | 3                      | 8                           | 5          | 日曜日 |
| 月曜日 | 7 北大オープンキャンパス* | 4                      | 9                           | 6          | 月曜日 |
| 水曜日 | 9 二水会          | 6                      | 11 二水会                      | 8 二水会      | 水曜日 |
| 日曜日 | 13             | 10                     | 15 北大進学相談会**                | 12         | 日曜日 |
| 水曜日 | 16             | 13 二水会                 | 18                          | 15         | 水曜日 |
| 金曜日 | 18 三金会         | 15 三金会                 | 20 三金会                      | 17 三金会     | 金曜日 |
| 土曜日 | 19             | 16                     | 21 関西同窓会総会・講演会、札幌農学同窓会秋季講演会 | 18         | 土曜日 |
| 火曜日 | 22             | 19 第四回役員会              | 24                          | 21         | 火曜日 |
| 土曜日 | 26             | 23 一社) 社員総会            | 28                          | 25         | 土曜日 |
| 日曜日 | 27             | 24 第27回歴史ウォーク          | 29 北大進学相談会**                | 26         | 日曜日 |
| 土曜日 |                | 30 北大ホームカミングデー* (全体行事) |                             |            | 土曜日 |
| 未定  | 食品産業エルム会       | 会報89号発行                | 食品産業エルム会                    | 食品産業エルム会   | 未定  |
| 未定  | *：対面（予定）       | 食品産業エルム会               | **：オンライン                    |            | 未定  |
| 未定  |                | 歴史ウォーク                 |                             |            | 未定  |
| 未定  |                | *：対面&オンライン             |                             |            | 未定  |

## 2022 年度 北海道大学関西同窓会決算報告

| 収入の部        | 金額        | 摘要         | 支出の部       | 金額        | 摘要                       |
|-------------|-----------|------------|------------|-----------|--------------------------|
| 総会親会費       | 0         |            | 総会親会費      | 0         |                          |
| 年会費         | 1,731,000 | 577件       | 総会関係費      | 0         |                          |
| 広告費         | 645,000   | 143件       | 会費         | 20,000    | 会場費・講演料・飲料費等             |
| 北大校友会エール支援金 | 347,700   | 300円×1159名 | 会費         | 43,507    | 感謝状・記念品・電報料等             |
| 行事収入(通称巡り)  | 3,000     |            | 同窓会親会費     | 920,865   | 主にZOOMによる会議の減少           |
| 祝金・寄付金      | 2,578     | 北球会        | 同窓会親会費     | 230,121   | メール便・テープ・インク費ほか          |
| 利子          | 9         |            | 同窓会親会費     | 30,561    | 加入案内郵送料                  |
| 雑収入(会報販売等)  | 0         |            | 通信・交通費     | 10,328    | 年会費納入依頼、広告費請求書等発送費ほか     |
|             |           |            | 業務委託費      | 480,000   | 一社：北大会館支払い               |
|             |           |            | 協賛金        | 90,000    | 一社：北大会館祭、市民フォーラム         |
|             |           |            | 接待交際費      | 0         |                          |
|             |           |            | 振込手数料      | 112,276   | 年会費等振込手数料負担              |
|             |           |            | H P維持管理費用等 | 187,124   | H P更新・管理料、サーバー使用・ドメイン更新料 |
|             |           |            | 会費増強事業支援金  | 0         | 予算81万、来期に繰越              |
|             |           |            | 会費増強事業費    | 0         |                          |
|             |           |            | 産学連携事業費    | 40,200    | 旅費等                      |
|             |           |            | 雑費         | 9,330     | 私込取扱票3000枚印刷代等           |
| 小計(A)       | 2,729,287 |            | 小計(B)      | 2,174,312 |                          |
|             |           |            | 当期剰余金(A-B) | 554,975   |                          |
| 前期繰越金       | 3,016,736 |            | 次期繰越金      | 3,571,711 |                          |
|             |           |            |            | 5,746,023 |                          |

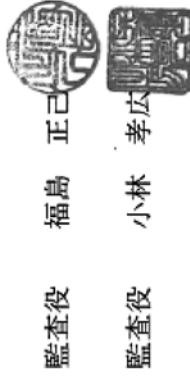
## 次期繰越金明細

|       |           |
|-------|-----------|
| 郵便貯金残 | 2,735,991 |
| 振替口座残 | 781,495   |
| 現金残   | 54,225    |
| 合計    | 3,571,711 |

上記の通り相違ありません

令和4年9月6日

北海道大学関西同窓会



監査役

福島 正己

監査役

小林 孝広

## 2023 年度 北海道大学関西同窓会 役員名簿

## 相談役

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 窪田 開拓 | 昭36 | 工 |
| 間中 俊夫 | 昭37 | 工 |

## 顧問

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 小久保 隆正 | 昭30 | 農 |
| 本間 一郎  | 昭30 | 工 |
| 米田 昌弘  | 昭30 | 工 |
| 横山 保憲  | 昭30 | 工 |
| 相馬 恒雄  | 昭30 | 工 |
| 濱本 富美雄 | 昭32 | 工 |
| 牧野 俊一  | 昭37 | 理 |
| 谷口 直之  | 昭42 | 医 |
| 大野 正浩  | 昭36 | 水 |
| 近藤 博之  | 昭28 | 法 |
| 水内 修   | 昭39 | 経 |

## 評議員

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 嶋田 誠  | 昭42 | 農 |
| 志田 智徳 | 昭35 | 工 |
| 上條 栄治 | 昭37 | 工 |
| 徳永 徹  | 昭37 | 水 |
| 吉川 圭一 | 昭44 | 水 |
| 大野 公男 | 昭36 | 理 |
| 今川 忠  | 昭40 | 理 |
| 中山 毎木 | 昭43 | 薬 |
| 梶原 陽二 | 昭57 | 文 |

## 監査役

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 福島 正己 | 昭48 | 法 |
| 小林 孝広 | 平22 | 法 |

## 会長

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 植松 高志 | 昭48 | 法 |
|-------|-----|---|

## 副会長

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 石澤 登  | 昭37 | 農 |
| 山口 利昭 | 昭39 | 農 |
| 和田 武夫 | 昭40 | 農 |
| 三津 正人 | 昭45 | 農 |
| 手島 肇  | 昭42 | 工 |
| 伊藤 靖久 | 昭42 | 工 |
| 入江 和彦 | 昭45 | 水 |
| 田中文夫  | 昭50 | 水 |
| 三上 陽一 | 昭37 | 理 |
| 重盛 徹志 | 昭41 | 理 |
| 織田 健造 | 昭41 | 理 |
| 山中 幹基 | 平03 | 医 |
| 井上 泰  | 昭55 | 歯 |
| 田島 朋子 | 昭54 | 獣 |
| 山田 正幸 | 昭37 | 薬 |
| 南里 聖三 | 昭42 | 経 |
| 小谷 達雄 | 昭51 | 文 |
| 藤田 久美 | 昭52 | 文 |
| 福本 駿  | 昭45 | 教 |

## 理事

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 日沖 勲   | 昭40 | 農 |
| 波多 勇   | 昭43 | 農 |
| 松下 秀之  | 昭54 | 農 |
| 平田 昭夫  | 平06 | 農 |
| 増谷 俊一  | 昭40 | 工 |
| 下岡 健蔵  | 昭45 | 工 |
| 井上 和男  | 昭46 | 工 |
| 前川 以知郎 | 昭50 | 工 |
| 木村 成二  | 昭51 | 工 |
| 藪内 晴弘  | 昭53 | 工 |
| 岩井 隆郎  | 昭56 | 工 |

## 理事 (続き)

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 間中 仁志  | 平01 | 工 |
| 茶木 勇博  | 平12 | 工 |
| 吉田 昌史  | 平22 | 工 |
| 久保田 幸一 | 昭45 | 水 |
| 藤田 信良  | 昭48 | 水 |
| 大村 泰治  | 昭51 | 水 |
| 佐々木 雅人 | 昭56 | 水 |
| 大橋 人司  | 昭56 | 水 |
| 青木 孝之  | 昭59 | 水 |
| 中田 邦彦  | 昭61 | 水 |
| 川邊 一郎  | 平03 | 水 |
| 前田 直臣  | 昭43 | 理 |
| 仲村 栄基  | 昭43 | 理 |
| 鶴浦 勤也  | 昭45 | 理 |
| 福井 毅   | 昭55 | 理 |
| 橋本 大志  | 平01 | 理 |
| 末永 伸正  | 平04 | 理 |
| 石原 千晶  | 平04 | 理 |
| 千田 忠男  | 昭46 | 獣 |
| 黒澤 努   | 昭47 | 獣 |
| 藤川 晃成  | 昭44 | 医 |
| 荒木 常男  | 昭48 | 医 |
| 塩井 孝   | 昭57 | 歯 |
| 二階堂 宏夫 | 昭39 | 薬 |
| 佐藤 正之  | 昭41 | 薬 |
| 山本 勇   | 昭47 | 薬 |
| 越 直美   | 平12 | 法 |
| 杉森 隆志  | 平13 | 法 |
| 戎角 太一  | 平22 | 法 |
| 湯川 康史  | 昭47 | 経 |
| 北浦 和憲  | 昭51 | 経 |
| 北村 芳久  | 平06 | 経 |
| 近藤 武憲  | 平06 | 経 |
| 山中 麻希  | 平20 | 経 |
| 高瀬 裕介  | 平13 | 文 |
| 田中 未央  | 平20 | 文 |



## 入退会者情報

総務部長 福井 毅（1980（S55）理生植）

会報 87 号（2022 年 9 月発行）以降、2023 年 3 月 10 日までに、物故者は 6 名、高齢による体調不良や転居等による退会者は 23 名、新入会者は 5 名でした。

亡くなられた会員の方々のご冥福をお祈り申し上げます。

### 物故者

森本 武（S25 農農）、上村 慶治（S41 農工）、

八田 利之（S42 理高分）、松井 正和（S48 農林）、  
羽田 裕（S49 工合化）、相馬 恒雄（S30 工建）

### 入会者

八田 方良（S52 農農）、原田 博紀（H04 歯）、  
土田 美那（H13 教育）、杉山 雄基（H24 文西）、  
我如古 弥司（H29 理数）

以上

## 編集後記

ここに 88 号をお届けします。2020 年からのコロナ禍で規制続きの生活だったが、この 3 月でマスクの装着は自由になった。そして、5 月には新型コロナウイルス感染症はいわゆる 2 類から 5 類になる。ようやくトンネルを抜けた気分だ。類と聞いて、理類の文字が記された合格通知書を受け取った昔を思い出した。

巻頭言は本年度より（一社）北海道大学関西同窓会館の代表理事に就任された田島朋子さん（「動物のお医者さん」ではない獣医師の仕事）と波多勇さん（「社会の変化とともに」）にいただいた。

「2022 年度通常総会の報告」は初めて総会に出席した光田正子さんより、また総会にて特別講演された札幌農学校同窓会副理事長 瀬戸 篤先生より「札幌農学校と起業家精神」を寄稿いただいた。

行事については、松下秀之さんに「北海道大学ホームカミングデー 2022」に参加された報告を、また、「2023 年新年会」の報告を峠 茂樹さんに寄稿いただいた。

会員活動では、植松高志さんから「恵迪寮入寮 50 年の集いと恵迪寮」、藤川晃成さんから「生きる意味を求めて：私のキリスト教入信」、鈴木功さんからブラジルでの人生第 2 話として「コーヒー農園開拓へのチャレンジ」、天知輝夫さんから「ごみ拾いと写真（もうすぐ行く三途の川での問答/想定）」、そして三津正人さんより「私は美男に御座（おわ）す～古代史の小径～」と、多岐にわたる原稿をいただいた。

同窓会活動では、井上和男さんから「第 25 回歴史ウォーク～比叡山延暦寺を訊ねて～」、山田勝重さんから「『私の味作り商品の開発～味付けの流儀』によせて」、藤田久美さんから「二水会・三金会の講演一覧（2022 年 9 月～2023 年 2 月）」を、寄稿いただいた。

お知らせでは、札幌農学校同窓会関西支部の新理事に就任された八田方良さんから「自己紹介」を、植松高志さんから「北海道大学中部地区同窓会 設立総会」について寄稿いただいた。また、北海道大学社会共創部広報課広報・渉外担当 櫻井景子さんから「本学関連トピックス」ならびに、表紙写真をご提供いただいた。ここにお礼を申し述べます。ありがとうございました。なお、関西同窓会行事予定 2023 年 4 月～11 月、2022 年度 関西同窓会 決算報告、2023 年度 関西同窓会 役員名簿、入退会者情報は福井 毅総務部長にいただいた。

本号の特徴は「写真」の多いことだ。きっかけは天知輝夫さんの写真作品寄稿であった。天知氏は関西同窓会の各種行事に参加され、シャッターを切られている。情報は文字から視覚（写真・絵）を経て、今では動画の世界へと変化している。本誌も電子データで公開される時代に。リンクやアイコンをクリックすると動画が観られる時が来た。そんなことを天知氏の寄稿で教えられた。書くことにとらわれることなく、どうぞ皆様ご寄稿ください。

下岡 健藏（1970（S45）工応物）

## 北海道大学関西同窓会

住所：〒530-0001 大阪市北区梅田 1 丁目 2 番 2-200 号 北大会館

Tel&Fax 06-6343-3736（ムサンサン ミミロ）

E-mail：elmkansai@yahoo.co.jp

URL：http://hokudai-kansai.org

場所：大阪駅前第 2 ビル（阪神百貨店の西側を南へ徒歩 2 分。梅田 DT タワーの南）  
2 階北西の隅（下記地図参照）

### 交通の便：

JR：大阪駅から地下道を南へ 5 分

地下鉄：梅田駅から南西へ約 8 分

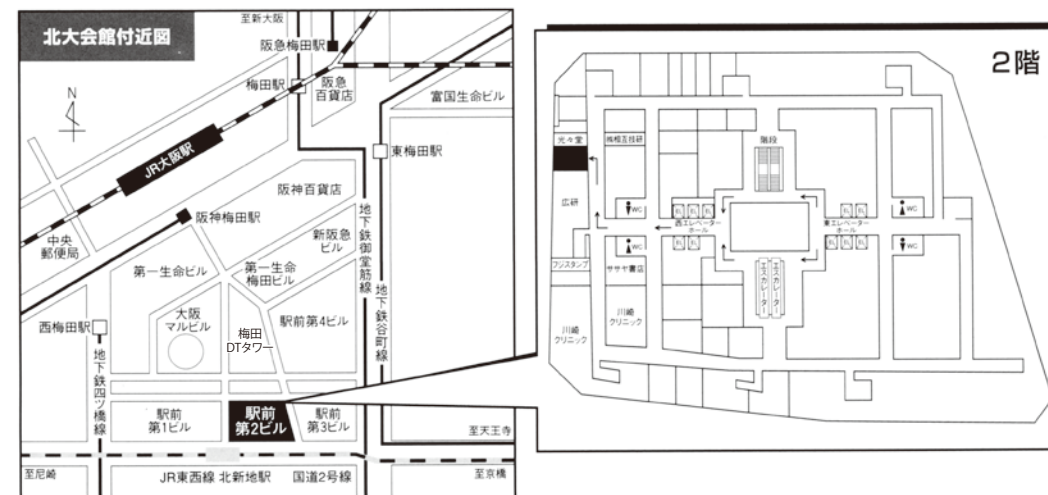
：東西線北新地駅の真上

：東梅田駅から西南へ約 5 分

阪神：梅田駅西口から地下道を南へ 2 分

：西梅田駅から東へ約 3 分

阪急：梅田駅から南西へ約 10 分



## Be ambitious 投稿のお願い

当会報は年 2 回発行され、会員のみに配布される機関誌です。恒例の記事に加え、皆様からの自由な投稿をいただき、より楽しい紙面と致したく存じます。お一人様 2～3 頁（3,000 字～4,500 字）の寄稿をいただければと存じます。

### 記

1. 内容：北海道大学・北大同窓会及び同窓生に関すること
2. 字数：約 1,500 字（1 頁当たり）
3. 写真・図：2 枚（1 頁当たり）
4. 締め切り：毎年 6 月末、12 月末
5. 宛先

○北海道大学関西同窓会 編集委員会 E-mail：elmkansai@yahoo.co.jp

○編集長 下岡 健藏（S45 工応物） E-mail：ken-shimo@hotmail.co.jp

印刷所との間では原稿を E-mail でやり取りしますので、<word>原稿でお願い致します。

---

北海道大学関西同窓会会報 第88号

- 発行日 2023年(令和五年)3月10日
  - 編集者 下岡健藏
  - 発行者 北海道大学関西同窓会会長  
植松高志
  - 印刷所 株式会社 すばる  
〒557-0014 大阪市西成区天下茶屋1-20-10
  - 発行所 北海道大学関西同窓会  
〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2番2-200号  
大阪駅前第2ビル2階 北大会館内  
Tel・Fax : 06-6343-3736  
E-mail : elmkansai@yahoo.co.jp  
URL : <http://hokudai-kansai.org>
-